

よ

よ (世) 【名詞】 1) 社会での境遇 世代 2) 一家の経済状態 世間の評価

よ 【接尾語】 数について強調表す。ひとつよ、ふたつよ、みつつよ、よつつよ、いっつよ、むつつよ、ななつよ、やつつよ、ここのつよ、とおよ

よ 【接尾語】 文末について強調を表す (志、北、尾、南、熊) [会話] 言葉の後ろい (に) について 恥かしヨ嬉しいヨ言うて それつけんの (つけるのです)。嬉しいなあ言うたりすんのを (するのを)、嬉しいヨ言うのなあ (です)。恥かしいわ言うときや (ておけば) ええことなあ (よい事に) 恥かしヨ言うのなあ。ヨをはっきりせんと (せずに) ショ言うて おとっショ (怖いです) 嬉ショ言うて おおた オトッショ言うたりなあ、おおた (ああ) おとしヨ言うて おとしかったんよお (怖かったのです) 言うの (のです)。怖かったヨ言う事をな おとしかったんよお言うてな。

よあかし (夜明) 【名詞】 寝ずに夜を過す事 徹夜

よあけのだんぶ 夜明けのランプ 昼行灯 ぼんやりしている事

よあそび (夜遊び) 【名詞】 夜、遊びあるくこと。夜、遊ぶこと。夜更かし。特に異性と、夜 遊ぶこと (南) [会話] ヨアソビ言うなまあ (のは) よさり (夜) あっちい (あちらへ) 遊び、こっちい (こちらへ) 遊びん (に) 行きするにげな有るやんかな (人が有ります)、それを言うのなあ。今しの (今しの) ヨアソビや (は)、カラオケとかなあ、昔は どこやかや (何処、此処に) よりしよな (集会所が) 有って、男の人らは よお (よく) ヨアソビしいおったやんかな (して居たで有りませんか)。昔は 草履作るとか縄なうとか言うて よりばい (集会所に) いて (行つて) 五人・六人つ 女な (が) よって 草履作ったりしとると (していると)、又 男も よりば言うとこな (所が) 有って そこい (へ) よつとるもんな (集まっている者が)、やい あいらな (あの人達の) 草履 作つとるとこい (所へ) いて (行つて) 遊んでこおや (来ましよう) 言うてな、そげんすんのを (そんなにするのを) ヨアソビなあ (です)。

よあみ (夜網) 【名詞】 夜 網で漁をすること [会話] 夕方ん (に) になると ヨアミい (え) 行くのん (行くのに) 来いよお (来なさい) 言うて かいますみ打ちん (に) 行くねどお (行くのだ) 言うて、日のおちや

い (入り時) を かいますみ言うて。

よあみ (弱身) 【名詞】 弱点 よわみの訛

よあらし (夜嵐) 【名詞】 夜に吹く風 [会話] 夜明けん (に) になると、あさあらし (朝風) 言うのな (が) 出てくんね (来るのです) 西の風な (が)。夕方ん (に) になると ヨアラシ言うて ヨアラシな (が) 来る迄 ちょいと (少し) 港で やすんどろや (休んでいましょう) 言うて。

よい 【感動詞】 1) 応答の語 はい (志 (布施田、片田、浜島)、尾) 2) 人に呼びかけの言葉 人名の後につける。〇〇ヨイ (志) [会話] 1) おんのかい (居ますか)、ヨイ言うて おんのかい言うて おるよお (居ます) 言うて ヨイ。2) ヨイ言うて 呼び掛けるのおと、1) こやれ (これ) 言うて ヨイ言うて 返事する時も有るしなあ (有ります)。

よい (よひ) (宵) 【名詞】 夕方 (志 (安乗)) [会話] ヨイのうちに言うて 日な (が) 暮れて じつきに (すぐに) 七時か 八時のうちなあ (間を) ヨイの間や (だ) 言うて。ヨイの間 夜伽 (話し相手・通夜) したとか ヨイの内しといて (しておいて) 来たとか、早いうち (間) を ヨイの内や (だ) 言うて。ひいな (日が) 落ちてから 真っ暗がりん (に) なる迄 七時か 八時頃迄 ヨイの内言うて ヨイの内にしといてこななあ (して来なければ) 言うたり、ヨイの内夜伽して ちょいとおってこななあ (少し居なければ) 言うて 真っ暗がりん (に) なる迄の時間。

よいこける 酔う 泥酔する 転ぶ程酔う (南、熊)

よいころかげん 適当

よいぜつく (よひぜつく) (宵節句) 【名詞】 節句の前夜 [会話] ヨイゼック。本節句言うて。三月は二日な ヨイゼックになるし (なります) 三日な (が) 本節句 桃の節句。そして (そうして) 五月は 四日な (が) ヨイゼックで 五日な (が) 菖蒲、九月は よおかな (八日が) ヨイゼック 本当は ここぬかな (九日が) 菊の節句。

よいそ (夜磯) 【名詞】 夜 海岸で潮の干いた時に行う 貝 海藻の採取 (志 (布施田)) [会話] ヨイソいて (行つて) 言うて。よさり (夜) 十五夜ん (に) になると、潮な (が) よお (よく) 干いて かんからこん (かんからかんに) なつてくね (なつて行くのです)。いつもなら 舟で 走るとこな (所が) ともとみたよ

んなってくの(庭のようになっていくのです)。ヨイソ行くと、つね(いつも)の潮に ひんなか(昼間)採られんとこな(所が) よさりん(夜に) となると、浜(海岸)に なっくんやんかい(なっていくのです)。そやもんで(それで)ヨイソ行く言うて、いそもんひろたり(磯物、小さな貝類拾ったり) ふのり(海藻)採ったりすんの(します) いつもなら 腰ざり(腰迄)はいらんならんとこな(所が) 浜みたよん なっくんやんかい。ひんなか(昼間)の潮より、夜の方な(が) よお干くの、ひんなかは そげんよけ(そんなに多く) 干かせんねけど(干かないのだが) 夜潮は よお干くの(よく干くののです)。舟 行たときや(行った時は) 舟 海一杯 此处ら言うて つなんどくと(つないでよくと) 潮な(が) 干くと ほんにやげられたて(放り上げられてしまつて) こんだ(今度は) 潮な 来る迄(満ちて来る迄) きやれんで(来れなくて、帰へれなくて)、弱いね(困るのです)。ふのりでも ひじきでも なんでも その時や(は) 採り次第やんかい(放題です)。なんでも(何でも) 採り次第やもんで(なので) いつも(常に、平素) あしこい(あすこへ) 行きたいおもても(思つても) 腰ざり はいらな(はいらなければ) おもとるところでも(思つて居る所でも) 皆 採られるもんで(採れるので) ひんなか 行くと、あほらし(馬鹿臭く)て あやれ(あれ) よんべや(昨夜は) かんからこ やつたのん(だつたのに) 海んなつとんない(になつて居る) 言うて。

よいだおれ(よひたふれ)【酔倒】 泥酔している事、又その人

よいたくる ひどく酔う 泥酔する(志(甲賀)、南、熊)[会話] まあ よけ(沢山) 飲んで ヨイタクル。飲んで、飲んで 道の方になあ のたつとりおつたわな(転んで居ました) わあわあ言うて おめいて(叫んで)、道ん(に) 転ろどりおつたね(んで居たのです)、今しやつたら(今だつたら) 引き殺されんねなあ(るのです)。

よいたくれ【名詞】 酔っぱらい 酔いどれ 酒にひどく酔つた人 動詞たくるの名詞化(志(甲賀、片田、布施田、鶴方、神明、国府)、鳥、張、伊、北)[会話] ヨイタクレな(が) よんべや(昨夜は) くだまいて言うて、ヨイタクレて くだまいて 夜中までさおんどたてやら(さわいで居たとか)、ヨイタクレも 酔いとんぼも 一緒や(です)。言い方な(が) 違うだけで、酒飲んで べろべろん(に) なつとんの(なつて

居るのを) ヨイタクレやてやら(だとか) ぐれんそおやてやら。ぐれんそおなつとんね(になつて居るのだ) 言うて 言うやんかい(言います) たわい(正態)な 無いよおん(に) なつとると(て居ると)、ぐれんそおなつとんね 言うて。

よいだし(宵出)【名詞】 夕方から出漁すること。夕方舟を出して漁に出ること。夕方に旅立ちすること。

[会話] ヨイダシ言うな(のは) 漁師に行く時に ヨイダシや(だ) 言うて、朝 行かんと(行かずに) よさり(夜) 行くのを言いおつたんやろな (言つて居たのでしょう)、夕方から出てくのをなあ(行くのを)。旅立ちする時でも ヨイダシ、してきやええわれ(して行けばよろしい) 言うて 言いおつたなあ(言つて居いました) 昔や(は) 歩いて行きおつたよつてんなあ(行つて居たのだから) 鶴方の浦い迄 巡航船でいといて(行つておいて) それから伊勢行く人ら 逢坂山行くし、鳥羽の方行く人ら こつちや(こちら)の方 通つて。

よいだち(よひだち)【名詞】 夜から旅に出発する(志(布施田))

よいつくばり(よひつくばり)【名詞】 宵っぱり 夜遅く迄も起きて居る人(上、阿)

よいつぶれ(よひつぶれ)【名詞】 泥酔して居る事、又その人。エヒツブレ(酔潰)の略転(大言海)

よいどれ(よひどれ)【名詞】 泥酔者。

よいとんぼ【名詞】 酔っぱらい よいたくれ参照

よいのうち(宵の間)【名詞】 日の暮れて間もない頃 日没直後 宵の口

よいのくち【名詞】 日の暮れて間も無い頃。

よいのしぐれはあすのなぎ【俚言】 夕方に時雨が有ると、翌日は天気もよく、風もよくなる、低気圧の通過した後、天気のよい事を言う。

よいのみょうじん(宵の明星)【名詞】 日没後 西天に輝く金星(志(布施田)、阿)[会話] ヨイノミョウジン。星を ヨイノミョウジンな(が) 何処い(へ) 来た言うて、どいらい(大変) よお光んのなあ(よく光るのです) みょうじんは。ヨイノミョウジンな(が) 何処そこい来た。昔や(は) 時計な(が) 無いもんで(ので) 星で時間 何時や(だ) 言うて 年寄りの人ら(は) 星の時間みよおつたなあ(見て居ました)。すばんな(昂が) 何処い迄 来たよつて(から)、てんじよ(天上・真上) 迄 来たよつて 何時やなあ(だ) 言うて。すばんや(だ) 言うて、かたまつとる(集まつて居る) 星をなあ(です)。すばんや(と)

言うやんかい(言います)。すばんな(が)真っ天井
い(真上へ)来たれ(来た)言うて。そやよって(そ
れだから)何時や(だ)言うて。ヨイノミョウジンと
すばんで だいたい(おおよそ)の時間見よおったな
あ。

よいほおける 泥酔する(南)【会話】ヨイホオケル言
うなだ(のは)、酒 飲んで ほおけとんのを(てい
るのを)夜がな夜中(一晩中)飲んどる(でいる)人
な(が)有るやんかな(有ります)。無茶苦茶ん
(に)よおて(酔って)ヨイホオケトンネ(でいるの
だ)まあ言うて。あんげん(あんなに)言うてな ぐ
だぐだ言いもて(ながら)飲みして、御馳走すると
二、三人のにげな(人が)何時迄もおってなあ 飲ん
どりおったわな(でいました)。

よいまどおし(よひまどほし)【宵惑】【名詞】日が暮れ
るとすぐ寝る早寝の者 夜すぐ寝むくなる人 よいま
どい よいねまどい 宵惑いの訛 よいま 夜間 宵
の間の事(志、鳥、度、伊)【会話】ヨイマドオシや
(だ)言うて、飯 喰うと ねぶとなって来る(寝く
なって来る)子供らな(が)有りおったわい(有りました)。宵 早よ(早く)寝て、朝おっそおて(遅く
て)ヨイマドオシのアサネコキやれ(だ)言うて、よ
おわるわれおった(よく叱られました)。飯、喰い終
ると ねぶってしとんの(寝むってして居るのを)ヨ
イマドオシやもんで(だから)、ねぶって来たれ(来
た)言うて。昔や(は)なんも(何も)無いし 飯く
や(喰へば)眠ぶとなってくや(来れば) いどころね
や(居所寝、居る所で寝る事です)。

よいまどおしのあさねこき【俚諺】夜早く寝ても朝いつ
迄も寝ている人 よいまどおし、ねぼさく参照【会
話】ヨイマドオシノアサネコキ言うて よさり
(夜)も 早よ寝るくせん(早く寝るのに)朝も よ
お起きんのおを(起きられないのを) どいらいわり
(大変悪い)癖や(です)。

よいやみ(よひやみ)【宵闇】【名詞】日没後 月が出ず
宵の時間が暗いこと 月令十三日頃迄【会話】月の
出とらん(出ていない)時は 暗闇で 宵のうち
(間)闇のうちや(時は)ヨイヤミ言うし 二日や三
日(月令)のおや(時は)ヨイヤミや(です)。

よいやれひやれ 1) 仕事をしていても時間さえ経てば
よいと考へて忠実に仕事をしないこと又、その人
2) 一日中雑事に追われて、まとまった仕事が出来な
い事【会話】₁₎ 冬至の時は 日な(が)短かいねよ
って(のだから) おもて(思つて)、きいもおで(気

もんで)する人はええし(よいし)、ヨイヤレヒヤレ
そげな(そんな) きい使わんと(気使わずに)働いと
るにげ(でいる人間)は、雇とたらはざん(雇とった
らいけない)言うて。₂₎ ヨイヤレヒヤレで まあ言う
て 言う時も有るしなあ。ヨイヤレヒヤレで 今日は
遊び事やれ(だ)言うて、仕事 どくたまん(ろくた
ま、ろくに) せんと(せずに)あれしい 此れしいし
とると ヨイヤレヒヤレやったよお(だった)言うて
あれしい 此れしい まとまった事せんと(せずに)
ヨイヤレヒヤレで まあ言うて。

よいよい【名詞】中風 脳卒中の後遺症(上、阿)【会
話】ヨイヨイ、なった言うて。ぶらぶらん(に) な
つとんのを(なつて居るのを)よとよとやてやら(だ
とか)ぶらぶらや(だ)とか言うて。ぶらぶらん
(に) なつてたら(なつてしまつたら) なとするやか
なあ(どうしようか)言うて、ちゅうけん(中風に)
なる事 おとしがって(怖がって)。

よお(よう)【四】四 よ し よつつ よ(四)の延
(大言海)(志(布施田))【会話】ひい(一) ふう
(二) みい (三) ヨオ (四) いつ (五) むう (六) な
に (七) やあ (八) こら (九) とお (十) 言うて。

よお(よう)【接頭語】よく よく(善)の音便(大言
海)(志(鶴方、神明、立神、志島)、桑郡、桑市、四、
鈴市、亀、安、津、久、多、上、阿、張、名、度、伊、
北、尾、南、熊)【会話】ヨオ来たなあ(よく来まし
た)、はよはいれえ(早く入りなさい)言うて、久し
ぶりん(に)来ると、ヨオ来たなあ言うて。おんなじ
(同じ)ヨオでも あや(彼は)ヨオ来るわい(来ま
す)言うて、年中来とるし(いつも来て居る)、ヨオ
来てくれたなあ(来てくれました)言う時や(は)た
まん(に) いた時ん(行った時に)ヨオ来てくれたな
あ言う(言います)。ごおかん(屋号の)婆な(が)
かどあめ(飴)売つとて(て居て)婆ん(に)飴 売
つてくれ(下さい)言うて、婆な(が)ヨオ来た(よ
く来た) おやまのこおよ(美しい子供よ) だれ(ど
れ) まけたろに(まけてあげよう)言うて。婆よ ど
んな(どれが)まけてあんねど(あるのだ)言うて、
どいらいのおな(大きいのが)まけてあんねどよお
(あるのだ)言うて、数は まけてのおて(なくて)
おっきい(大きい)だけ まけてある。ヨオ 仕事し
た言うて 言うのも有るしなあ(有ります)。ヨオ
喰うなあ(食べる)言うのも有るし、ヨオ 喋る言う
のも有るし、ヨオ 喋ん(る)なあ言うのは、随分喋
べる おしゃべやなあ(よく喋る人だ)言うて。おお

た (おお) こげな (こな) えらい (大変な) 仕事
ヨオしたなあ (しましたね) こいなむつかしのん (こ
んな難かしいのに) ヨオしたなあ言うて。ヨオ 晴れ
て ええ (よい) 日やなあ (です) 言うて。

よお (よう) (良) 【副詞】 とても どうして なかなか
反語となる意を表す 不可能を表す (志 (浜島)、鳥、
桑郡、員、四、鈴市、亀、安、津、一、飯、松、多、
上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [用例]
仕事 ヨオせん (出来ません)。

よお (よう) (良) 【副詞】 しばしば 度々 (熊)

よお 【感動詞】 人と出合った時の挨拶 (阿、張、名)

よお (よう) 【名詞】 世 世代 世間 (鈴市、多、阿、
張、名、度、伊、北、尾)

よお 【名詞】 夜 (鈴市、多、阿、張、名、度、伊、北、
尾) [用例] 冬は ヨオな、なんがよい。

よお (よう) 【副詞】 よく 良く 能く 善く 十分に
念を入れて 手落ちなく 丁寧に 見事に 上手に
可能の意を表す (志、桑郡、桑市、四、鈴市、亀、安、
津、久、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、
熊)

よお (よう) (用) 【名詞】 大便 しぼり参照 [会話]
ヨオな (が) しぎって言うて、出のくいのおを (出ぬ
くいのを)。

よお (よう) 【接尾語】 語尾について疑問を表す 何で
すか 開きなおる時の語 (志、鳥 (加茂)) [会話]
なんをヨオ (何ですか) 言うて、開きなおす時ん
(に) どげやこげや (どんなだこんなだ) 言うの (の
を) ずんたのもんな (耳の聴えない者が) ひとくらん
(一度に) ヨオ聞かんと (よく聞かずに) ふたくらめ
(二度目) 開きなおす時ん (に) なっとヨオ (なんで
すか) なっと言うたねヨオ (何と言うたのだ) 言うて、
こげん言うたねヨオ (こんなに言った) 言うと、ほん
とこ (本当ですか) 言うて、後で ヨオつけんのなあ
(付けるのです)。なっとヨオ言うて ちよいと (少
し) 引張んなあ (張ります) なんをヨオ言うて。

…よお 語尾についてするなを表す 泣くなヨオ 怒ん
なヨオ

…よお (よう) しなさい なさい [用例] 此、せえヨ
オ (しなさい)。

よおい 【感動詞】 呼び掛けの言葉 よい参照 (志、北)
[会話] ヨオイ言うて、呼び掛けんのおと (るのと)
よい言うて 返すんのと (するのと)。

よおい (ようい) (用意) 【名詞】 準備 支度

よおいける (よういける) よく食べる よく飲む 特に

酒 [会話] ヨオイケル言うのは、酒を飲むのも あ
の人 ヨオイケル人やなあ (だ) 言うて、よけ (沢
山) 飲む人をなあ。酒だけやなしん (でなくて) 御飯
でも 沢山食べるのを。

よおいけるこっちゃ (よういけるこっちゃ) よく食べら
れる事だ よく飲めるものだ

よおいわんわ (よういわんわ) あきれてものが言へない
[会話] そいな (そんな事) 事 ヨオイワンワ言うて。
あきれて ものが言われん (言えない) とか言う時ん
(に) ヨオイワンワ そいな (そんな) 事言うて。

よおお (よおう) 【形容詞】 弱く ゆるく [会話] 体
が弱くて言うのを ヨオオて言うの (のです)。あの
人、ヨオオて まあなんも (何も) よおせんねない
(出来ないのだ) 言うて、力が無いのも言うし、そし
て 病気勝ちなのも言うのな (です)。ゆうう (緩
るく) 結んどけよお (で置きなさい) 言うのも ヨオ
オ 結んどけよお 言うて、よお (よく) 結んどけ
言うのは しっかり結べ言うねやんかい (言うので
す)。

よおおて (よおうて) 【形容詞】 弱くて [会話] ヨオ
オテ言うのは、弱い 体な (が) ヨオオテしとんのも
(しているのも) ヨオオテ言うし、力が無い人も ヨ
オオテ言うし、病気の時の弱いのと 力の無い時の弱
いのも 同しよん (ように) あの人ヨオオテ言うの
(のです)。そして 喧嘩して じっきん (すぐに)
泣いてくんのも (来るのも) ヨオオテ、涙ヨオオテ
あの人な (が) じっきん 泣いて来てなあ言うて 涙
もろい事をなあ。

よおおらん 居られない 居れない 辛抱出来ない
[会話] おらよかれ (居れない) あげなむつかし (あ
んなむつかしい) 家ん (に) 言うて、ヨオオランワレ
言うて、ヨオオラント (居れなくて) 行くと (出て行
くと)。

よおき (ようき、やうき) (陽気) 【名詞】 時候 期節
寒暖 天候 [会話] ヨウキな (が) よお (よく) な
って来て しのぎやすい。

よおきき (ようきき) 【名詞】 便利 重宝 (志 (布施
田))

よおきたなあ (ようきたなあ) 来客を迎える言葉 (尾)
[会話] よく来て呉れたなあ言うのを ヨオキタナア
言うの (のです)。まあ そいな (そんな) 遠いとこ
(所) から ヨオ キテクレタナア言うてなあ お客
さんな (が) 来た時に、よおこそ おいで下さいまし
た言う事を ヨオキタナア言うの。

よおけ【副詞】 余計 よけ 普通より多い事 沢山 (志
(御座、船越、畔名、甲賀、国府、片田、鶴方、神明、
立神)、鳥 (桃取、国崎、答志、神島、加茂)、桑郡、
桑市、員、三、四、鈴市、鈴郡、亀、安、津、一、久、
松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾、北、南、熊)
[会話] よっけもろたよお (沢山貰った)、ヨオケ
もろて来たんよお (来ました) 言うて、したや (した
ら) おおた (おお) そげんよけ (そんなに沢山) 貰ろ
たんこ (貰ったのか) 言うて。

よおごわり (ようごわり)【名詞】 出産前に便意をもよ
おす事 しょんべんごわり参照 [会話] ヨオゴワリ
言うてなあ、産む前ん (に) になると、便所い (へ) ば
っか (ばかり) 行きたあいよん (ように) になってくん
ね (来るのです)。つらましんてわい (つらいそうで
す) あいななあ (あんなのは) 便所へばっか 行き
たいもんで (ので)。

よおさんかい (ようさんかい) (養蚕飼)【名詞】 蚕を飼
う事 [会話] ヨウザンカイ言うのは 蚕飼い 磯
(海女) よおせんもんは (出来ない者) 蚕、飼いに行
くしなあ。

よおし【感動詞】 はい、よし 承諾の返事 ヨオシ、お
んなやったろん (はい、私がします) (桑郡)

よおじ (ようじ、やうじ) (楊枝)【名詞】 1) 歯ブラシ
(志 (浜島)、南) 2) 妻揚子 歯の垢を取り清潔に
するための道具 [会話] 2) ツマヨオジとか 1) はあ
(歯) 磨く ヨオジとか。

**よおしえん (ようしえん)。よおしえんわい。よおしえ
んわな (女性語) よおしえんわれ。** 出来ない (志)
[会話] 仕事な (が) しのくい (しにくい) 事を、ヨ
オシエン言うの (のです)。自分で よおしない (出
来ない) 事をな、おらまあ (俺は) ヨオシエンワレ
(です) むつかして (難かしくて) 言うて、こいな
(こんな) 事、した事ないもん (から) ヨオシエンワ
レ 言うてな ヨオシエンワレ言うね (のです) 出来
ません言うのを。

よおした する事が出来た

よおした。よおしたなあ よく出来た

よおしたる (ようしたる) 1) 出来る 2) 立派にし
てやる (上、阿) 3) してやる事が出来る

よおしてくれた 1) 有難う よくしてくれました 札
を述べる言葉 (志、鳥 (国崎)) 2) 手厚くもてなし
て貰った

よおしてもおて 1) 立派にして貰らって 2) 厚遇し
てもらって

**よおしとり (ようしとり、やうしとり) (養子取)【名
詞】** 一人娘 女姉妹だけの長女 婿をもらった女 む
こどり (上、阿、南) [会話] ヨオシトリ言うのは
婿とんのを (貰らうのを) ヨオシトリやなあ (だ) 言
うの (のです)。おなごばっかで (女ばかりで) 婿と
んのをなあ ヨオシトリ言うの (のです)。婿どりや
なあ (だ) 言うのなあ。よおし、とる 言うのを 婿
どりや言うの (のです)。

よおしむすめ (やうしむすめ) (養子娘)【名詞】 一人娘
跡とり娘 (上、阿、南)

よおじゅう (ようじゅう) (夜中)【名詞】 一晚中
(志 (畔名、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥
(相差)) [会話] ヨガナヨオジュウ 夜通ししとる
(している) 事を、ヨオジュウ言うのなあ (です) 一
晩中言うのを よどおし言うの (のです)。

よおじょお (ようじょう、やうじょう) (養生)【名詞】

1) 病氣の手当 看護 治療 病氣、産後の休養

2) 建築、壁塗り其の他、物を造った時などしばらく

使用せず、様子を見る事 [会話] 1) ヨオジョオせな

はざん (しなければ駄目だ)。病気を治すのおなあ

(のを) ヨオジョオせなはざん まあ だいぶ (だい

ぶん) 体な (が) 弱ととられ (弱って居る) 言うて。

衰弱しとる (して居る) 言うのを 弱ととられ 言う

て、えごっと (充分に) ヨオジョオせえよお (しなさい)

言うて。治さなはざん (なければ駄目だ) 大事ん

(に) して言うのを ヨオジョオせえ 言うのなあ

(のです)。産後 (出産したあと) でも 産後のヨオ

ジョオな (が) わり (悪い) とか、産後のひだちな

(日の経過、肥立ちが) わり 言うて。そんなもとで

(それが原因で) あげんして (あんなにして) ぶらぶ

らしとんね (して居るのだ) 言うて。産後のひだちを

よおせんとさいご (充分にしない時は) あとで 体な

(が) 何処な (が) 悪り 此処な (が) 悪り言うて

ちわずらいみたよん (のように) になってくるよってん

(から) 産後のヨオジョオ えごっと (完全に) ひだ

つまでせえよお (しなさい) 言うて。産 (出産) のあ

との ヨオジョオな (が) 足らん言う事を ひだちな

(が) 悪りいて (悪るくて) 言うて 体な (が) いつ

迄 まめん (健康に) 普通の体にならせん (ならな

い) 言うのを。ヨオジョウな (が) 悪り、足ららった

(足りなかった) 言うて ひだちな (が) 悪りこた

(悪い事は) ヨオジョウな (が) 足らん言う事や (で

す)。それやよって (それだから) えごっと (十分)

ヨオジョウせえよお 言うて、昔の人ら 大事ん

(に) こもおおけると (子供産むと) ふたあつき (二ヶ月) 位 やすみおったけど (休んで居たが)。全快な(が) 悪りいて まめな 体ん(に) ならせん (ならない) 言うのを ひだちな (が) 悪りいて いつ迄あげん (あんなに) ぶらぶらしとんね 言うて。

よおしょく (ようしょく、やうしょく) (洋食) 【名詞】
西洋風の料理

よおしょく (ようしょく、やうしょく) (養殖) 【名詞】
1) 真珠養殖 2) 人工的に飼育したもの 【会話】
2) ヨウショクモンヤ (物だ)、天然は 自然にわいて (生じて) おっきい (大きく) なったのを 天然やし (です)。こっちやで (此处らで) 孵化して 放して生けん (る) のおを ヨウショクモン。天然もん (物) は なんでも (何でも) 値なええし (値がよいし) 魚でも 鰻でも 天然もん (物) 一人 池で育ったもん (物) は ええし、餌やって こおた (飼った・育てた) ヨウショクモンは 味な (が) 悪り (悪い) 言うて、よお言うやんかい (よく言います)。1) 浦の真珠を ヨウショクいよおったけど (言うて居たが) 今は 魚でも 鮑でも ヨウショクして 放して おっきい (大きく) したり、ヨウショクモンを その儘 売ったりすんねけど (するのだが)、昔や (は) ヨウショク言うたら 真珠の珠入れ よおすんのを (よくするのを) ヨウショクや (だ) 言うて。珠入れて 放して 巻く迄んのおを (ののを) ヨウショクや (だ) 言よおった (言っていました)。ヨウショクこおば (工場) 言う と 真珠工場だけやったけどなあ (でした)。

よおしょくかづき (ようしょくかづき) 【名詞】 真珠貝をもぐって取る事 日が決められている 【会話】 磯人は ほんとの (本当に) こやこややった (駄目でした)、その代り ヨウショクカズキン (に) となると よかったの (のです) 浦ばっかいとりおったもんで (ばかりいっていたので)。

よおしょくこうば (ようしょくこうば) (養殖工場) 【名詞】 真珠養殖場

よおしょくざら (ようしょくざら) 【名詞】 西洋皿 底が浅く、縁の広いもの 【会話】 ひらくたい (平らな) のを ちょいと (少し) 模様な (が) こまかい (小さい) のして、すんの (するのを) ヨウショクザラや (だ) 言うて。

よおしょくもん 【名詞】 養殖物 人工的に増加させたり、大きくしたりした物 よおしょく参照

よおしょくや (ようしょくや、やうしょくや) 【名詞】

真珠養殖を行なって居る人 養殖屋 【会話】 今して (今で) 言う と 真珠養殖場 ヨウショクヤや (だ) 言うしなあ 真珠養殖しとると (している)。

よおしょくや (洋食屋) 【名詞】 西洋風の料理を出す食堂

よおしよめ (ようしよめ、やうしよめ) (養子嫁) 【名詞】 子のない人が養子を貰い、その養子に嫁の来ること 二人とも直接血縁関係がない やしないご参照 【会話】 男の子 貰ろて来といて (貰らって来ておいで) 嫁なあ (です)。ヨウシヨメや (だ) 言うて。

よおじんわり (ようじんわり) 不用心である 物騒である (南) 【会話】 ヨウジンワリ言うな (のは) 火の用心がわり (悪るい) とか、戸締りのせんとおって (せずにいて) 泥棒のヨウジンワリ 言うのなあ。このごら (頃は) 物騒で ヨウジンワリワレ (悪るいです) 戸締りも えごとしとかな (充分にしておかなければ) 言うてな。

よおすいがめ 【名詞】 防火用の水槽

よおすられ (ようすられ) 出来ます する事が出来る よおする参照

よおする よく面倒を見る、よく世話をする (南) 【用例】 あのだ嫁、婆な世話 ヨオスルわい。

よおする (ようする) する事が出来る 出来る (張、名、度、三、熊) 【会話】 ヨオスル言うな (のは) 出来ます言う事や (です) そいなこた (そんな事は) ヨオスラレ言うね (のです)。そいな 事すんな (するのは) おらな (俺が) しやなあ (すれば) ちょいなまかやれ まいのきいつばきやれ 言うて、ちょいちょいと じっきんしたる (すぐにしてしまう) 言う事をな まいのきいつばきや (だ) 言うの (のです)。

よおするこっちや (ようするこっちや) 1) 出来るものか 2) よくする事が出来るものだ

よおせざった 出来なかった しなかった

よおせん (ようせん、やうせん) 出来ない 不可能です

よおせんね 出来ません 出来ないのだ

よおせんねない 出来ないのだ

よおせんわ。よおせんわい (ようせんわい)。よおせんわな (女性語)。 **よおせんわれ (ようせんわれ)** 出来ません 出来ない 【会話】 仕事よおしません (出来ません) 言うのを、ヨオセンワレ言うて 出来ません言う事。

よおた (ようた) 酔った (桑郡、桑市、員、鈴市、伊) 【会話】 酒にヨオタ、船にヨオタとかなあ。それから人な (が) よけおって (沢山居て) 人にヨオタとかな

あ 酔う事を。

よおだ (ようだ、やうだ) 病んだ [会話] いび (指) ヨオダ、腹ヨオダ、ねぶとな (根太・出来ものが) 出来たや (ら) 口な (が) 開かんで やめて (痛んで) ヨオダ。やめんのおを (痛むのを) ヨオダ。いびな (指が) 膿んで来て やめるとさいご (痛む時) いび ヨオデ言うて。“てえやめや (手病みは) 肥える 足 やみや (足病は) 痩せる” 言うて 言よおった (言っていました)。病むのを ヨオダ 言うて。頭 ヨオダ 言う時も 頭も ずきずき病める言うて 言うやんない (言うでしょう)。そして (そうして) こおもおける (子産む) と お産の時ん (に) さん (産・出産) な たっこおて (高くて) 腹 痛めんの (るの) を 腹 ヨオドル言うて 言よおった (言っていました)。みっか (三日) も 腹ヨオドンネテナイ (痛めているそうだ) 言うて、腹 痛めとる (て居る) 言うのを。産なたっかい言うのは お産な (が) えらい (大変だ) 事を 幾日も 陣痛な (が) 来て 一人で (自然に) 出て来る迄を 腹、痛めてしとんのおを (して居るのを) 腹ヨオドル言うて 今日で 三日も 腹ヨオドンネ (痛んで居るのだ) 言うて。

よおだ (ようだ、やうだ) 止んだ 雨なヨオダ (志 (御座))

よおだ (ようだ) 呼んだ (志、度)

よおだ 読んだ (志) [会話] わしや (私は) まあ、あの本 ヨオダねよお (のだ) 言うのな (のです)。新聞ヨオダとか言うて 読みました言うのを わしや まあ ヨオダワ (です) 言うの (のです)。

よおだい (ようだい) 【名詞】 容態 様子 特に病気の状態 病状 [会話] ヨオダイな (が) わりいて (悪くて) 言うて、様子な (が) 悪り事を。あの人な (が) 今日は えらい (大変) ヨオダイな悪り いつもより違うね (違うのだ) 言うて。様子な (が) 悪り 言うのを、ヨオダイな (が) 変って言うて、様子な (が) 変になる言うのを ヨオダイな (が) 変って来たんてない (来たそうだ) 言うて。あんばいな (案配、塩梅が) 悪り言うて。案配な (が) 悪りなった (悪くなった) 言うて 案配言うたり (言ったり) ぐわいな (具合が) 悪り 言うたり、ヨオダイな (が) 悪り 言うな (のは) 様子な (が) 悪り、かげんな (が) 悪りとか、かげんな (が) ちごた (違った) 言うて、なっそおな (様子が) 悪りなった どいらい (大変) なんばいな (様子が) 悪りなあ言うて。

よおたし (ようたし) 【名詞】 排便、排尿、便所に行く

事

よおたし (ようたし) 便利、利用するのに便利なもの

よおたす (ようたす) 用便をする

よおたす (ようたす) 用事をする

よおだつ (ようだつ) (用立) 【自タ五】 役に立つ

よおだてて (ようだてて) 1) 呼んでも 2) 病んでも 3) 読んでも 4) 止んでも [会話] ¹⁾ いくら呼んでもきやせん (来ない) 言う事なあ 幾ら ヨオダテきやせんねない (来ないのだ)。幾ら呼んでも 呼んでも言う事を 幾らヨオダテテ言うの (のです)。²⁾ 病氣して いくら、ヨオデモ言うて 病んでも言うのを 病むのも ヨオデ言うのなあ (のです)。³⁾ 本読むのも ヨオデ言うの (のです)。⁴⁾ 雨な (が) ヨオダテテ そげんすぐん (そんなにすぐに) いかんで もええやんかれ (行かなくてもよいでないか) 言うてな。雨な (が) ヨオダよつて (から) まあ 行くわい (帰ります) 言うと、だんねえわれ (かまわない) ヨオデモ まだおれ (居なさい) 言うて。

よおだてる (ようだてる) 【他タ下一】 他人の用に供する、貸せる 役立たせる

よおて (ようて) 酔って (志、阿、伊) [会話] 酒にヨオテ 船ん (に) ヨオテ、それも言うしなあ。

よおて (ようて) 好くて [会話] あやまあ (彼は) どいらい (大変) ヨオテなれ、あのにげ (人間) 心な (が) ヨオテ言うてな。なんやかや (いろいろ) 着物とか 物な (が) 好いとか言うのも ヨオテなれ言うて、此の酒 ヨオテなれ 旨いど言うてな 好い言う事を。

よおで (ようで) 読んで (鳥) [会話] 写本ヨオデ 死んだ人の戒名言うといて (ておいて) 鐘をかんかん叩く やさやさ てんてこてん言うて。

よおで (ようで) 呼んで 招待して (志、鳥)

よおで (ようで) 病んで よおだてて参照

よおで (ようで) 止んで

よおでこ (ようでこ) 呼んで行こう 誘って行こう [会話] あれも (彼も) 行こやんか (行きましょう) 言うて ヨオデコやんか (でないか) 言うて 呼んで 行こや (行きましょう) 言うのを ヨオデコや言うて。

よおでこい 【名詞】 1) 呼んで来い 2) 読んで来い

よおでた (ようでた) 止んだ 止んで行った [会話] 雨な 止んでくと (で行くと) ヨオデタ言うね (言うのです) 雨も よおだし言うね。

よおでのごい 葬式の親族の人が襟にかける布 ぜんの綱を裂いて与える

よおても (ようにも) 好くても よかつても (三) [会話] いくら好くても言う事を ヨオデモ言うのなあ (です)。

よおでも (ようにも) 呼んでも [会話] ヨオデモ 返事もせんと (せずに) すらぼけていたない (そらとぼけて行った)。

よおでも (ようにも) 読んでも [用例] 難かし (かしい) 本 ヨオデモ わからかれ (判らない)。

よおでも (ようにも、やうでも) 止んでも [用例] 雨なヨオデモ、泊つとれや (て居なさい)。

よおでも (ようにも、やうでも) 病んでも 病氣しても
よおでもおて。よおでもろて (やうでもおて) 1) 呼んで貰うて 招待してもらって 2) 嫁として婚家に入って

よおでもらう (やうでもらう) 1) 呼んでもらう 2) 婚家に入る

よおとこ (やうとこ) 【名詞】 四ヶ所 [会話] ヨオトコで 漕ぐな (のは) 八丁櫓。

よおとた (やうとた) 酔って居た

よおどた (やうどた) 呼んで居た。読んで居た。止んで居た。病んで居た。

よおとる (やうとる) 酔って居る (南)

よおどる (やうどる) 読んで居る (志) [会話] 本 ヨオドル 今し (今) まだ 此の本 読まんとおんね お (ずに居ます) 言う時もあるし、ヨオドル 最中や (だ) 言うて。ヨオドル言うて 読んどる 言わんと ヨオドンネ (読んで居るのだ) 言うて。

よおどる (やうどる) 病んで居る [会話] ヨオドル あやまあ (彼は) ヨオドテ (病んで居て) 言うやんかい (言います)。病氣で 休んどる事を (休んで居る事)を 病氣しとる (して居る) 事を。あや (彼は) 今し (今) ヨオドンねてや (病氣して居るのだ) 言うて。

よおどる (やうどる) 止んで居る よおだ参照

よおどる (やうとんね) 呼んで居る

よおとるぜん 【名詞】 銅貨

よおとんね。よおとんねない 酔っているのだ

よおどんね。(やうどんね) よおどんねない 1) 病んでいるのだ 2) 止んでいるのだ 3) 読んでいるのだ 4) 呼んでいるのだ

よおな 【助動詞】 …のようだ ある事物を示しそれと同じ性質、状態にあることを表す 中世から近世にかけて主に使用された (志、津、伊)

よおない よく無い 悪るい (北)

よおなええ 世が好い 家運が盛んだ (志 (布施田))

よお、なかつた 1) よく無かつた 2) 死んだ (桑市、南、熊)

よおな、かつた ようだった 様子だった

よおなきや のようであれば

よおなけつする 便秘する

よおなし 【名詞】 必要ないこと

よおなしぎる (やうなしぎる) 便秘する 便が硬くて出ぬくい べんじょにおらへん参照 [会話] 便な(が) かつたいのおを (硬いのを) ヨオナシギル言うて。

よおなった 1) よくなった 立派になった 2) 病氣が快復した

よおなった 沢山実をつけた [用例] 柿な (が) ヨオナッタ 蜜柑も ヨオナッタ。

よおなる よくなる 病氣が治る (志、鳥、松、多、張、伊、北、尾、熊) [会話] 病氣な (が) 治った時でも よおなったんてわい (たそうだ) 言うて、好くなる 全快した事を ヨオナル 言うて。

よおにない 否定、ないだろう 降るヨオニナイ (志)

よおの (やうの) 【名詞】 海女が暖を取る時腰から下に巻き付ける布 腰から足首まで有る (志、鳥)

よおば (やうば) (用場) 【名詞】 便所 (桑市、員、三、鈴市、安、一、久、松、飯、多、上、阿、張、名)

よおばいそお (やうばいそう、やうばいさう) (楊梅瘡)

【名詞】 1) 顔面に出来る梅毒 化膿したところが楊梅の実に似ているところから 2) 初期梅毒 全身に梅花の様な発疹の表れるところから かさ参照

よおべん (やうべん) (用便) 【名詞】 大便 [会話] 便所の事かい (ですか)。便所い (へ) いて (行つて) 来る言う事なあ。ヨオいて こおかい なあ (行つてこようか) 言うしな、大便の事、ヨオベン いて こおんなあ (行つて来ます) 言うて。

よおまあ よくぞ ヨオマア言うてくれた

よおも (やうも) 【副詞】 よくも、よくぞ 相手の憎むべき 或は意外な、また驚く行為を見て発する語 (員) [会話] おおた ヨオモ あい な (あんな) 事言う事やわい (だ) 言うて、よくも 言う事やわい なあ (だ) 言うの (のを)。

よおもたん。よおもたんわい。よおもたんわな (女性語)。よおもたんわれ 持つ事が出来ない

よおもつ (やうもつ) 1) 持ちがよい 長い事使つて居る (志 (浜島)) 2) 持つ事が出来る [会話] ② おもたい よつて (重いから) ヨオモツカ言うのも有るし、
1) 丈夫で どいらい (大変) 長持ちするのを ヨオモ

ツなあ。よお持ったなあ 長持ちやったなあ (だった) 言うて。²⁾ そして (そうして) 荷物な (が) おもたいのん (重いのに) こいな (こんな) おもたいのん ヨオモツなあ モツなあ言うて。よお持たんわれ (持てません) 言う時も有るし、そして (そおして) こやどいらい (此は大変) 丁寧 (ていねん) にして有って 長持したなあ ヨオモツなあ言うて。

…**よおもない** 1) 術がない [用例] 誰ん聞こヨオモナイ (志 (布施田)) 2) 様子でない

よおふんなあ よく降りますね (張)

よおや ようだ 様子だ (桑郡、員、鈴市、津、多)

よおやく (ようやく、やうやく) 【副詞】 やつとの事で よおよお参照。徐、漫の訓 ヤヤク、漸漸の訓 ヤクヤクの転 (広辞苑) ヤウヤウの転 (大言海)

よおやつと (やうやつと) 【副詞】 やつとのことで 辛おじて、ようやくと やつとの合成語 [会話] よおよおと 出来たよお言うて、やつと 出来た言う事を ヨオヤツト よおよと 出来たんよお (ました) 言うけどな。

よおゆう (ようゆふ) よく言う 言うことができる

よおゆうことや よく言える事だ、よく言えるものだ [会話] あいな (あんな) 事 ヨオユウコトヤ (だ) 言うて、すかん事言う人な (が) 有るとなあ あいな 事 ヨオユウコトヤ 好かんなあ言うて。

よおゆうてくれた よく言ってくれた

よおゆうわ (ようゆうわ) 1) よく言えることだ 2) 言えます [会話] ¹⁾ あいな (あんな) 事 ヨオユウワ言うてな、すかん (嫌な) 事言う人な (が) 有るとなあ そいな (そんな) 時にな、あいな事 ヨオユウワ言うのなあ (です)。

よおゆわんわ (ようゆわんわ) 1) 呆れて物が言えない (阿、張) 2) 言えませんが [会話] ²⁾ ヨオユウワ言うのは 自分が よお言わん (言へない) 言う事や (です)。私は そいな (そんな) 事 よお言わん 言うのを ヨオユウワ言うて、むこおの人な (が) わり (悪るい) 事言うとるや (言っているでしょう) そすと (すると) 私は そいな 事、ヨオユウワ言うねやんかい (言うのです)。相手な (が) いろいろわり 事、言うとると (ていると) わたしら (私は) そいな 事、ヨオユウワ言うねやんかい。

よおよお (ようよう、やうやう) 【漸】 【副詞】 ようやく やつと 辛じてヤクヤクの音便 (広辞苑) [会話] やつと出来たとか言うのを、ヨオヨオ出来たよお (ました) 言うの (のです)。ま、苦心した事をな 苦心し

て なかなか出来なかったのおな (のが)、ヨオヨオと出来た言う事をな やつと出来た言うんやるなあ (言うのでしょうか) 今し (今) で言うて。

よおよお 甘えさせる

よおよおに (ようように、やうやうに) ようやく やつと [会話] よおよおと 一緒にの事やんかい (です) ヨオヨオ出来たとか ヨオヨオ出来たとかな。

よおよおのこおさん (ようようのこうさん) どうかこうにか やつと [会話] とおとお 出来上がった言うのも有るし、ヨオヨオノコウサンで 出来上った言うのも有るし (有ります)。

よおよおゆう 甘い言葉を使う 甘えさせる

よおよと (ようよと)。よおよに 【副詞】 ようやく やつと 辛じて。[会話] ヨオヨト 出来上ったよお言うたり。此処い (へ) 迄来んのん 弱ったよお (来るのに困りました)。ヨオヨト来たよお (来ました) 言うたり、ヨオヨト これ迄、持て来たよお (持って来た) 言うて、よおやく言う事やわいなあ (です)。どおやらこおやら (どうかこうにか) これい (へ) 迄、来いゆねた (やって来た) 言うたり。

よおよのこおさん やつと どうか よおよおのこおさんに同じ

よおら 【名詞】 海魚 いぼだい いぼだい参照

よおりよ (ようりよ) 要領 物事を上手に処理する事 末尾ウの脱落

よおん 【助動詞】 ように ようだ ようなに同じ 1) 断定をさける気持を表す 2) ある事物を示しそれと同じ性質 状態であることを表す (尾)

よおんたつ 役に立つ (志 (布施田))

よか 【形容詞】 多く 沢山 (志 (布施田、片田、甲賀、国府)、鳥) [会話] こいなもん (こんな物) ヨカあられ (有る)。よつけあられ (沢山有ります) 言うたり よれやれ (沢山有る) 言うて。よつけ有って もろて来たれ (貰って来た) 沢山 言う事や (です)。

よか 【助詞】 よりも よりか よりか 格助詞 よりに 副助詞かのついたもの 比較の基準を表す。選択の基準を表す よりほかの転 (志 (布施田)、鳥、桑市、員、四、鈴市、亀、安、一、飯、多、上、阿、張、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] こっちゃ (こちら) ヨカ こっちゃの方が ええやんかい (よいのでは有りませんか) 言うて 較べる時ん (に)。

よがき 【名詞】 夕方遅い頃 夕方遅くまで働く事 [会話] ヨガキ言うなだ (のは) 仕事な (が) 遅なって (ていつて)、夕方遅いとか 仕事が張って (余っ

て) よだこいた (夜遅くなった) 言うて。

よがきかく 夕方遅くなる 夜遅く迄働く [会話] よがきも一緒 よだこく 言うの (のです)、ヨガキカク言うのも よだこく 言うのも 一緒 おそなる (遅くなる) 言う事。

よがきのかきどおし 毎日仕事が遅く迄かかる

よがけ【名詞】 夜 夜の始まりの頃 [会話] 夜の始まり。ヨガケとか、朝がけ言うて 夜の始まり言う事や (です)。

よかぜ (夜風)【名詞】 夜間に吹く風

よかぜ (夜風邪)【名詞】 夜 薄着して体が冷えて引く風邪 ねびえ 参照 [会話] 寝て 風邪ひくのを ヨカゼひいた言うのも有るし、寝冷ひいた言う人も有るわい (有ります)。

よかったかい。よかったかな 1) 良かったですか 2) いりませんか (阿、張) [会話] 1) あんた (貴方) あすこい (へ) 行て来て、ヨカッタカイ、旅行い (へ) 行て来ると 富士山いたんて (行ったのですか) 富士山ヨカッタカイ ヨカッタヤンナイ (よかったでしょう) 言うて。2) あんた (貴方) これ ヨカッタカイ言うて、要りませんか言う事や (です) いらんかい (要りませんか) 言う事をな。

よかったやんない 1) 立派でしたでしょう よかったかい参照 2) 要らなかつたでしょう

よかったよお 1) 立派でした 良かったです 2) いりません 3) 好都合でした [会話] 1) ヨカッタヨオ言うな いろいろの事して来て、ええ (よい) 事して来て よかったとか、2) そして 要らん時でも そいなもん (そんな物) まあ ええわい (よろしい) 言うやろ (でしょう)、要りません言うて、貰らわんでもええわい 言うやんな (でしょう)、要りません言うのを その時 ヨカッタヨオ言うて わしぎや (私の家は) 有るよって (から)、ヨカッタヨオ まあ言うて。

よかったわい 1) 好都合でした 感謝の気持を表す有難う (志 (布施田)) 2) 立派でした 良かったです 3) 要りません

よかっても 1) よくても いらなくても (三、鈴市、伊) 2) 立派でも [会話] よおても 同じよおな言葉やんか (です) ヨカッテモ。

よかない 沢山無い 非常に少ない

…よかない それだけよりない

よがなよおじゅう【名詞】 一晩中 終夜 夜通し よがなよおじゅうで (志 (船越、越賀、布施田、片田、立

神)) [会話] ヨガナヨオジュー 喋って (て居て) 寝やれらつたれ (寝れなかった)、ヨガナヨオジュー、せせつとんね (せせつて居る・性交)。せせつとて (て居て) 寝やせやせんてやら (寝させないとか) ヨガナヨオジュー やめて (痛んで) 寝やれらつた 言う時も有るし (有ります)。ヨガナヨオジュー腹な (が) いとおて (痛くて)、ゆんべや (昨晩は) ヨガナヨオジュー 頭な (が) いとおて (痛くて) 寝やれらつた (寝られなかった)。一晩中言うの (のを) ヨガナヨオジュー言うて よっぴで言う時や (は) よっぴで こや (これは) こつちや (こちらの) 負けやれ (だ)、そげな時ん (そんな時に) 使うけど (が)、ヨガナヨオジュー言う時のおは (のは) 使わせんなあ (使いません)。

よがる【自ラ五】 1) 嬉しく思う よろこぶ 性交時の絶頂感 2) 振る

よかれあしかれ【副詞】 良くても悪くても 結局は (志 (布施田))

よかれともて よいようにと思つて 好かれと思つての転訛 [用例] ヨカレトモテしたのん (のに) うらめん (逆に) 出て。

よかろか よくない いけない いとおてヨカロカ

よかろかれ よいはずはない、よくない (志 (立神))

よがわり (世変)【名詞】 時代が変ること 一家の世帯主が代ること

よき【名詞】 斧 小形の斧 手斧 (志 (布施田、浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、桑市、鈴市、飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] ヨキ きい (木) 割る ヨキかい (ですか)。てヨキ おおヨキ ちっちゃいのおは (小さいのは) てヨキ、どいろお (大きく) うつつけて (投げつけて・振り降して) わんな (割るのは) おおヨキ言うし (言います)、マサカリヨキ言うのも有るしなあ (有ります)。マサカリヨキ言うな (のは) はあな (刃が) ひらくとおて (平で) まさかりかずいて 金太郎。あんな (彼が) 持つな (のは) まさかり。わしらな (私達が) 木 わんな (割るのは) てヨキで割って、おっきいの (大きいのを) 割る時や (は) おおヨキで 割って。てヨキの時や (は) てえ (手) だけですんの (するのです)。てヨキの時は むことても (座つて居ても) 出来る。てヨキの時や (は) 小間切れしといて (しておいて) 割んねけど (割るのだが)、オオヨキや (だと) 言うと 立つて、ふやげな (振り上げなければ) よお割らんやんない (割れない

でしょう。おおきいなあ (大きいのだと) おおヨギやなけな (でなければ) 割られやせんやんない (割れないでしょう)。

…**よき** より よか参照 (志 (布施田)) [用例] 鯛ヨギ鱈な美味しい

よぎ (夜着) 【名詞】 夜 寝る時 上に掛けるもの とくに 綿を入れて 掛布団とする大型の着物を言うかいまき (志 (甲賀)、鳥) [会話] ヨギのはつけみたいいなあ (のようだ) 言うて、くちびろな (口唇が) あつつい (厚い) 人見ると。ヨギのはつけ あつつう (厚く) どいろお (大きく) するやんない (でしょう)。夜 着る 着物 布団のなかい (中へ) それを着ると 肩な (が) 開かんで ええんてや (よいのです)。着もん (物) 袖さすのなあ (のです)。今しや (今は) 毛布 着るよってんさけんなあ (着るから) 昔や (は) 布団 はだいて (抱えて) 寝ると 此処な (此処が・肩が) 肩こめせな (しなければ) すこすこと 寒いね (のです)。ヨギ、着ると 肩な (が) 開かんで (なくて) ぬくたいんてや (温いのです) そやもんで (それだから) 世話なけど (面倒だが) ヨギを 中い (へ) 着ると 今しの 毛布の代り やてや (代りです)。ヨギきやんと (着ないと) 肩こめや (だ) 言うて せな (しなければ) さぶうて (寒くて) 肩な (が)。ヨギ着ると、肩な (が) 開かんで ええんてや (よいのです)、わざわざ 寝る時、上へ掛けるのん (のに) こしらえんの (作るのです)。布団 はだ (そのまま) で 寝ると すこすこと さぶいねてや (寒いのです) 掛け布団 着んねけど (着るのだが) それの下い (へ) ヨギ着て 上い (へ) 掛け布団着て すると ぬくたいんてや。普通の着物 着るねやなしん (着るのでなくて) 寝る時だけきんの (着るのです)。そして (そうして) 反対に 普通の着物の 背 (背中) の方を 腹の方に あおぬいておって (あおむいて居て) そおで (袖) を 差すよ おん (に) して 背中を 胸ん (に) やんのなあ (当てるのです) そんで (それで) すると ぬくたいの (温いのです)。掻巻も 夜着も 一緒や (です) 掻巻 こしやえなはざん (作らなければいけない) 言うたり、ヨギこさえなはざん 言うたり。

よぎのはつけ 【名詞】 夜着につける襟 厚くて大きい。比喩的に唇の厚く大きい人 よぎ参照 [会話] ヨギノハっかけみたいいなあ (のようだ) 言うて くちびろな (口唇が) あつつい (厚い) 人見ると。

よく 【名詞】 欲 吝 飽く迄も欲しいと思う心 (南)

[会話] ヨク、ドンヨク、欲しんぼ。あの人あ (は) 欲しんぼやなあ (だ) 言うて どいらい (大変) ヨクな人をな 吝な人をな あの人 欲しんぼやなあ 言うの (のです)。

よくがまし 【形容詞】 欲の深い事 欲張り ガマンは接尾語 (広辞苑)

よくさ 【名詞】 欲の深い人 よくそはの訛 罵しる時の語 [会話] よくそやなあ (だ) 言うね (です)、欲な人の事をな 欲しんぼやなあ (だ) とか ヨクサやたらなあ (だとか) 言うて。

よくしんぼ 【名詞】 人に物を呉れるのが嫌いな人 欲の深い事 又その人、欲張り、欲心坊、欲心、物を欲しがる心 (志 (御座、浜島、布施田、船越、甲賀、片田、鶴方、神明、志島、国府)、鳥 (答志)、多、度、伊、北) [会話] 人ん (に) くれんのな (くれるのが) 嫌いなもん (者) ヨクシンボ言うて。そして (そうして) 人にや (には) なんも (何も) くれんと (くれずに) わがと (自分) 皆 持つともな (持って居る者は) ヨクソやよってん (だから) 言うて。わしらな (私達が) 打ち網 (漁法) 行く時分 (頃) 夕方ん (に) なって来ると、“おいた (終った・やめた) おいた、〇〇〇や (は) おいた、△△や おいた しゃあばやおいた (仲間は終った)、×××は ヨクソでまだ おかん” 言うて。家い (へ) はよきとおて (早く来たくて) 夕方ん (に) なっても も、ひとはり (もう一張り) 言うて 張んねてや (網を入れるのです)。ヨクシンボ言うのは 人にくれたない (やりたくない)、ヨクソは 自分とこい (所へ) 取り込みする ヨクソも ヨクシンボも 一緒やわいなあ (です)。人ん (に) くれたないにげ (くれたく無い人・人間) を ヨクシンボ言うんなし (言うのですし) わがとだ (自分が) 皆 わが (自分の) 懐いいよ (入れよう) 思うのおも (の) ヨクソやし (です)、やんない (でしょう)。一緒の事やけど (だが) ヨクソも ヨクシンボも。しゃあばい 言うて なかま (仲間、互に組んで居る事) しとる (している) 家を しゃあばい (だ) 言うて、言よおったの (言って居たのです)。

よくする (欲) 【自サ変】 欲ばって居る 人にくれなくて自分で抱え込む

よくせき 【副詞】 【形容詞】 よくよく よほど よくも (志 (布施田)、員、上、阿、張、名、南、熊) [会話] ヨクセキやなけな (でなければ) できよかれ (出来ない) とか、ヨクセキやなけな そいなもん な

なあ (そのような物が) くれらよかれ (くれられない) とか、よくもあれやなあ (あれだ) 言うて。ヨクセキ言う事は よくも言う事やなあ (です) ヨクセキやなあ (だ) 言うて。なんでも (何でも) 出来ん事を (出来ない事を) ヨクセキやなけな 言うて。ヨクセキやなけな 言う事は 出来やへんなあ (ない) くれられやへんなあ 言うたりする時ん (に) 使うわい (使います)。こいななあ (此のようなのは) そげん (そんなに) 無茶苦茶ん (に) くれらよかれ、ヨクセキも、おもわな (思わなければ) くれらよかれ (くれられない) 言うよおな時ん (に) 使うんなあ (使うのです)。よお (よく) 思いきってくれた言うよおな意味やわい (です)。此れで 出合うてや (とは) ヨクセキやなけな 出やわれやせん (出合えない) 言う時もあるしなあ (有ります)。そいな時や (そんな時は) つねに (普段は) そお言う事は無いのに 行きあたった時ん (出合った時に) ヨクセキやなけな そいな時ん (そんな時に) 出やわせんのん (出合わないのに) そやまあ (それは) 運な (が) よかったんなあ (よかったのだ) 言う時も ヨクセキ言う事使うなあ (使います)。

よくそ【名詞】 欲の深い人、自分で皆持って居る人 よくさ、よくしんぼ参照

よぐそ【夜糞】【名詞】 夜する大便 特に寢床の中である大便 [会話] よさり (夜) 糞したんのを (してしまふのを) ヨグソ言うんやろ (言うのでしょうか)。子供らな (が) よお (よく) よさりな、したる (夜にしよう) 事な (が) 有るやんかい (有ります) ヨグソしてまあ言うて ねしょんべやとか (寝小便だとか) よさり (夜) よお (よく) 便所に行く人は ヨグソしてなあ言うわい (言います)。

よぐそし【名詞】 夜、大便によく行く人 [会話] よさり (夜) よお (よく) 便所に行く人は、ヨグソシでなあ言うわい (言います)。

よくとくづく【名詞】【形容詞】 欲得尽 すべて物事をするのに自分の利益のみを考えてすること。物欲だけで行動すること [会話] ヨクトクヅク言うのは、そればっか (ばかり) 考へて、おや (俺は) 此れしたる よって、どんだけ (どれだけ) 呉れとか、なにをおこせ (呉れ) とか言う人も有るなあ。ヨクトクヅク言うな (のは) そればっか 考へて、何時間したら ぜん (銭が) 幾ら入る、何を貰らう、言う事ばっか (ばかり) 考へとる (ている) 人をなあ ヨクトクヅクで あのひた (人は) まあ言うて。あの人ん (に)

なんたのだてて (何頼のんでも) ヨクトクヅクで まあ えらい (大変な) 事になられ (なる) 言うのなあ (です)。

よくどし【欲】【形容詞】 欲どしい 欲ばって居る 欲深い よく、欲 欲しがる事 むさぼり求める事 又その気持ち 物ごとを進んでやらうと言う気持ち (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、国府)、上、阿、張、名) [会話] ヨクドシ言うな (のは)、なんもかも (何も彼も) 此れも わがもん (自分の物) 此れも わがもん 言うて、わがとこい (自分所へ) 引っ張んの (るのを) ヨクドシ言うて、よくしんぼも 一緒やけど (です)。よくしんぼ よりまだ うわてや (です)。わがと (自分) 皆 かつこんで (掻き込んで) わがもん にしよお言うて よくしんぼの うわてやなあ (です) ヨクドシ言うな (のは)。

よくな 物おしみる けちだ 欲だ [会話] ヨクナ言うな 欲しんぼ、吝嗇な事。

よくばり【欲張】【名詞】 欲ばる事、又その人。何でも欲しく、人に与えるのが嫌な人

よくばけ【欲惚】【名詞】 あまり欲深い者 [会話] ヨクボケ言うなな (のはです)、人のもん (物) でもなんでも 欲しいてな (くて) すんのをな (するのを) あや (彼は) まあ ヨクボケやなあ (だ) 言うの (のです)。何処のもん (物) でも なんでも欲しいてな 人のもん (物が) なんやろと、かあやろと (何でも) 要る 要らんもん (物) を 欲し人な (が) 有るやんかな (有ります)。それを ヨクボケやなあ (だ) あのひた (人は) 言うて 欲で 固まっとのん (ていののを)。

よくばる【自ラ五】 欲ばる 度を越えて欲しがりに入れようとする ひどく欲をする (南) [会話] 欲ばる言うのも 一緒やわい (です)、なんもかも (何、彼) 持とて (て居て) 欲ばって 放させんのを (放さないのを) ヨクボル言うて。

よくめ【欲目】【名詞】 好意的な立場や期待から実際以上によく見たり自分の都合のよいように判断すること また そのような見方 [会話] ヨクメやなあ (だ) 言うて 自分のこおな (子が) 偉いとか 賢いいとか 言う時に、わが (自分の) ヨクメで あやれ (あれ) あんだけ (あれだけ) の事しただけん (だけに) あんげん (あんなに) 褒めてとか言うてなあ。

よくも【善】【副詞】 よく (善) を強めて言う語 よくぞ よくせき参照 [会話] よくせきやなけな (よくよくでなければ) そいなもん (そんな物が) くれら

よかれ (くれられようか) ヨクモ あれやなあ (だ)。
よくよく (善々) (能々) **【副詞】** **【形容詞】** 特別 限度
をはるかに越えているさま、本当に **【会話】** しさい
(見舞) に 卵 くれる家もありおったけど (あった
が) ヨクヨクやなあ (です)。

よくよくのこと 特別の事

よけ **【名詞】** 沢山 よけい よけい (余計) の末尾母音
の省略 (志 (布施田、片田、神明、立神、甲賀、国
府)、員、安、津、一、多、度、南) **【会話】** 沢山有
る言う事を ざらに有る言うの (のです)。そいなも
ん (そんな物) ざらやれ (だ) 言うて、ヨケ、よっ
け有るのを。

よけ より (志) **【用例】** 行くヨケしょおない (仕方な
い)

よけない 沢山ない 非常に少ない 希な

よけもない 1) あまり無い 多くは無い 2) 珍しい
(志 (布施田))

よこあい (よこあひ) **【横合】** **【名詞】** 1) 横の方 横手
側面 傍 2) その事に関係無い立場、位置 **【会話】**
1) ヨコアイカラ 喋って来て言うて。ふたんな (二人
が) 喋つとると (ていとう) 他の人な いなん (要ら
ぬ) 事、言うて来ると、ヨコアイカラ いなん事、喋
って来てなあ言うてな、側とか言うよおな意味や (で
す)。

よこおえぎ (横泳) **【名詞】** 体を横にして泳ぐこと 体
を水面に横にして泳ぐ泳ぎかた 横およぎ **【会話】**
横ん (に) なって 泳ぐの (のを)、そげんして (そ
んなにして) 泳ぐ人もあんねやろなあ (有るでしょ
う) ヨコオエギ 言うて。

よこがみ (横上) **【名詞】** 船の舵所の上に鳥居形に立て
たもの **【会話】** ヨコガミ言うとなあ 船い (へ) 寝
たり 生活すんねもんで (するので)、よさりん (夜
に) になると テント張らなはざんもんで (張らなけれ
ばいけないので)、おもていは (表、先には) こいな
(こんな) にぎつちよのこさえとて (塊を作って居
て)、ヨコガミ言う と 鱧の舵取とこい (所へ) 鳥
居みたいなのな (のようなのが) して有って、それい
(へ) 柱もたす (支持させる) それを ヨコガミ言う
て。そすと (そうすると) ヨコガミい (へ) しょんべ
(小便) しに行て、その ヨコガミい (へ) むしりつ
いといて (つかまえて居て) すんねやんかい (するの
です)。

よこぐい (よこぐひ) **【横喰】** **【名詞】** 長い物を、横の方
から食べること **【会話】** 横ん (に) くわえといて

(ていて) 食べるのおを (のを) ヨコグイする言うん
かい (言うのですか)。アイスキャンデやどき (な
ど) ヨコグイな (です)、玉蜀黍でも ヨコグイやん
かな (です)。ハモニカぐい言うけど (が) 玉蜀黍
食べる時や (は) ハアモニカや (だ) 言うけど (が)。

よこぐち (横口) **【名詞】** 人の話しに横から口をさしは
さむこと 差し出口 **【会話】** ヨコグチ言うな (の
は) 人の言う事を 横から 口 挟んで来るのを言う
んなあ (言うのです)。人の 喋つとんのおに (てい
るのに) いなん (要らぬ) 事を ちよいちよいつ (少
しづつ) 横から 喋って来る人な (が) 有るやんない
(有るでしょう) そお言うのをな。

よこぐわえ (よこぐはへ) **【名詞】** 長い物を横にくわえ
る事 よこぐい (志 (布施田))

よごし (夜越) **【名詞】** 夜を越す事 一晚経過する 前
日の残り物

よこしま (邪) **【名詞】** **【形容詞】** 正しくない事

よごしもん **【名詞】** 汚れ物 汚れた衣服 食器など 洗
う必要のあるもの **【会話】** なんやかや (いろいろ)
汚れたもん (物) を、茶碗でも 汚れたもんを ヨゴ
シモン。着物でも 汚れた物をなあ ヨゴシモンも
はよあらけとけ (早く洗っておけ) 言うてな 汚れた
物。

よこじり (横尻) **【名詞】** 尻を脚の上に乘せず 脚の横
の方において 座ること 横ずわり よこずわりに同
じ (志 (浜島、鶴方、神明、志島、甲賀、国府) 南)
【会話】 正座せんと (せず)に 横むかいしとる (して
いる) 事を ヨコジリ。

よこじりかく 尻を足の外に出して座る (志 (鶴方、神
明、志島、甲賀、国府)、南) **【会話】** ヨコジリカク
言うのは 横むかいしとる (している) 言う事な (で
す)。

よごす (汚) **【他サ五】** 散らかす (南) **【会話】** そこら
汚たのおすんのをなあ (なくするのを) 散らかすの
をなあ ヨゴス言うて。御飯まけたり (こぼしたり)、
おかずまけたりして、ヨゴス言うし、其処らい (へ)
塵や ごみや言うて 庭の方でもすんのを (するの
を)、ヨゴシテまあ言うのなあ (です)。きもん (着
物) でも なんでも 汚たのお (なく) になったのを
ヨゴス言うて。家の中 散らかしとると (ていとう)
それも ヨゴス言うし、庭でも そおなし (です)、
道も汚して言うて。道になんか (なにか) よおほつと
いてく (よく捨てていく) 人な (が) 有るやんかい
(有ります) 道 ヨゴシテ こや言うの (のです)。

よこずわり【名詞】 横座り 横尻り 足を横に曲げて出し正座の姿勢をくずして座る事 (南) [会話] ヨコズワリ言うな (のは) 正座しとんのおを (して居るのを) ちょいと (少し) すねな (膝が) 痛い と ずらして すんの (するのを) ヨコズワリん (に) して言うて。ヨコズワリん (に) せな (しなければ) まあ よおむことらんよお (座って居れない) 言うて 正座くずす事を ヨコムカイや (と) 言うて。正座しとんと (して居ると) すねな (が) やめて (痛んで) 来るやんない (でしよう)。正座しとんと 腰な (の) 痛いのは ええんけど (よいが)、すねな (が) やめて来るもんで (ので) すねな持たせん (持ちません)。そやもんで (それで) よこむかいん (いに) すんの (するのです)。ヨコジリ言うのな (のです)。ヨコムカイ言うの。ヨコジリん (に) すんの を ヨコムカイや なけな (でなければ) よおむかわん (座れない) 言うて。正座しとんと 尻な (が) 足のうい (へ) 乗っとるけど (乗って居るが) 足の上から ちょいと (少し) ずらして 横んしたと (にしてやると) 足な (が) らくなわい (楽です)。すね (膝) も びゅっと 曲げとんのおを (まげて居るのを) ちょいと (少し) 横ん (に) したと 楽なもんで (ので) ヨコズワリの方 な (が) 楽な (だ) 言うの (のです)。

よこたえる (よこたへる)【他ア下一】 横にする 寝る

よこたおし (よこたふし) (横倒し)【名詞】 1) 横に倒れる事 又 横に倒れた状態 2) 横倒した状態 (志 (布施田)) [会話] 2) ヨコタオシん (に) なって寝て、邪魔なんのん (になるのに) 言うて。人な横ん (に) なって 寝とる (て居る) 状態。1) なんでも (何でも) 立つとるもんを (て居る物を) こかす (倒す) と ヨコタオシん (に) 置かんと (置かず) に 立てとけ (ておけ) とか、にげ (人間) でも ころばんと (寝ずに) 座とると (て居ると) ええねけど (よいのだが) 横ん (に) ころぶと (寝ると) ヨコタオシや (だ) 言うし。立てとかんと (ておかずに) そんな (それが) かいて来ると (倒れて来ると) 危いよって (から) ヨコタオシん (に) 寝やしとけ (寝させておけ) 言う時もあんねてや (有るのです)。横ん (に) 倒すもんで (ので) ヨコタオシ言うんやろん (言うのでしよう)。きい (木) でも 時化で倒れると ヨコタオシんなつた (なつて行つた) 時化でまあ言うて。

よこだき【名詞】 横に抱える 小脇に抱える事 (志 (布施田))

よこたわる (よこたはる)【自ラ五】 1) 寝て横になる 横に寝る 2) 倒れている [会話] 1) 横ん (に) ねんのを (寝るのを) ねとんのをな (寝ているのを) あの人 ヨコタワッテ あやれ (あれ) 言うな (言います)。横にねとる (寝ている)。2) そして 柱や (だ) とか なんかが 道に 転んだりしとるやんない (しているでしょう)、あやれ あいなもん (あんな物が) ヨコタワッテ 邪魔ん (に) なつてなあ言うて、倒れとんのな (ていいるのです)。ヨコタワリ言うのは 寝とたり (寝ていたり) するのでも ヨコタワリ言うしなあ。そして 物が倒れとんのお (でいいるのでも) ヨコタワッて (ていて) 言うて きいな (木が) 倒れて ヨコタワッたれ (ていいる) まあ 時化で 言う時も有るし。

よこちよ【名詞】 横、側方 よこつちよ よこちよう (よこちやう) の訛 (志 (布施田)、安)

よこづけ【名詞】 側面を他の物につけること 特に乗物を他の物に接してつけること [会話] ヨコヅケ言うな (のは) 舟 つける (舳う) 時ん (に) 艫や 表 (船首) つけんと (舳わず) 舟の腹をつけとる (ていいる)。舟の姿なりん (に) つけとる 事を ヨコヅケ。

よこづち【名詞】 槌 藁などを打つのに丸太に柄をつけた槌 頭部の側面で打つので言う かけや参照 (上、阿、張、名)

よこつちよ (横つちよ)【名詞】 横 横の方 よこちよ (志、鳥、桑市、三、鈴市、鈴郡、多、伊、熊) [会話] ヨコツチョ 向いてた (て行つた) 言うて、いがんでくのを (歪んで行くのを) ヨコツチョや (と) 言うね (のです)。真つ直ぐん (に) 置いとんのおを (て居るのを) 横い (へ) やると 真つ直ぐん (に) 向けときやええのん (ておけばよいのに) ヨコツチョ向けて言うて。横むけすんのを (横むきするのを) ヨコツチョや言うの (のです)。横の方 ヨコツチョい (へ) 置いとけ (ておけ) 言うて、わがと (自分) 真正面やなしん (でなくて) 邪魔ん (に) なる時や (は) ヨコツチョい除けたれ (てやれ) 言うて。

よこつつら【名詞】 横面 横側 ヨコツラの促音化 [会話] ヨコツラ言うたり ヨコツツラ言うたり 一緒の意味やけどなあ (です) 顔の横を。

よこつばら【名詞】 横腹 腹の横側

よこつら (横面)【名詞】 1) 顔の側面 よこつつら参照 2) 横の方面 横あい (南)

よこて (横手)【名詞】 横の面 横側 [会話] 横に有る言うの (のを)、あしこ (あすこ) の ヨコテンあ

んど (に有るぞ) 言うてな。

よごと【副詞】 1) 充分に 2) よく、立派に よき様に [会話] 1) ヨゴト (充分) うまくは (上手のは) 言えんけど (言えないが)。

よごと【夜毎】【名詞】 毎晩

よこどり【名詞】 横領 上前をとる (上、阿、南)

よこなみ【横波】【名詞】 舟の側面から打ち寄せて来る波 [会話] 波な (が) ヨコナミン (に) して来る時な (が) 有るわい (有ります)。風の都合で ヨコナミン (に) なって来る時な (が) 有るやんかな (有ります)、舟に対して 横から当る波 ヨコナミ。

よこね【横皮】【横根】【名詞】 1) 鼠蹊部淋巴腺の炎症性腫張を主に言う 性病時に多い 2) からの転か 2) 木の根の横に張って居るもの (横根) [会話] 1) ヨコネに がんがさ よおばい そお 言うて 昔や (は) ヨコネ切りおった (切って居ました)。2) きい (木) でも 立ち木な (が) 有ると たちね (立根) は 底い (へ) 行くし、横い (へ) ねえな (根が) 張ると ヨコネな (が) 張つとて (て居て) こいなとこい (こんな所へ) 迄 ほおて来とられ (這って来て居る) 言うて。木 植えかえんの (代えるのに) ヨコネ 切ったと (てやると) はざんの (いけないのです)。あんまり (あまり) ヨコネ 切り込んだと (てやると) 付きのくいよってん (にくいから) ヨコネは 大事んせえよお (にしなさい) 言うて。木、たちね言うのは 底いいて (へ行って) しん (中心) からしとんの お (して居るのを) もと (中心) ののおを (のを) 立根言うし、あっちい (あちらへ) こっちゃい (こちらへ) 出張って、方々へしとるやんない (してるでしょう)。あいなの (あんなのを) ヨコネな (が) 張つとる (て居る) 言うて。

よこびんた【名詞】 横顔 頬 よこびんづらに同じ

よこびんづら【名詞】 頬 顔の側面 びんづら参照 (志 (布施田)) [会話] ヨコビンヅラ張り倒したん ど (てやるぞ) 言うて、ヨコビンヅラや (だ) 言うて。

よこみ【横見】【名詞】 1) わき目 (上、阿) 2) 流し目 盗み見

よごみ【名詞】 蓬 よごめ参照 (志 (鵜方、神明、国府)、鳥 (加茂、浦村、国崎)、三、鈴郡、鈴市、安、一、久、松、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊)

よこみち【横道】【名詞】 1) 本道より分かれた道 2) 話などの本筋から離れる事

よこむかい【名詞】 正座の尻を足からずらして座る事

よこずわり参照

よこむけ【名詞】 よこむき 横向 横を向いている状態 [会話] 真っ直ぐ向けときやええのん (ておけばよいのに) よこちよ (横の方) 向けて言うて ヨコムケすんのを (するのを)。

よこめ【横目】【名詞】 顔を向けずに目だけ動して見る 事 ながし目 色目 (阿、張、名、南) [会話] ヨコメでにがめて (にらめて) 言うて、人な (が) なんやかやしとんのお (して居るのを) しりめでみんのを (見るのを) ヨコメで にがめておこした 言うて。しりめ言うの 体 いごかんとおって (動かさずに) 目で こおしてする時なあるやんな (有るでしょう)、まともん (真正面から) みんなわりし (見るのは悪いし) ちょいと (少し) ヨコメで見たんよお (見ました) 言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。体 向いてくの (向けて行くのは) 横 向いて見た言うけど (が) 目だけ見んの ヨコメで見た、しりめで見た 言うて。しり目で見た言うな 目尻の方い (へ) 目だけ 向けんのを (るのを) 顔 動かさんと (さずに) 目だけ 向けん のを ヨコメや (だ) 言うて。

よごめ【名詞】 ヨモギ よもぎ キク科の多年草。高さ 0.5~1m、全体に芳香が有りよく分枝する。葉は羽状に裂け、裂片は披針形、裏面に白い綿毛を密生する、秋、黄褐色の小さな頭状花を多数円鐘状につける。新芽を摘んで餅に入れ、また葉裏の綿毛でもぐさを作る。(志 (船越、布施田、片田、志島、甲賀)、鳥) [会話] ヨゴメ 団子する。あれなあ (あれは) 葉やよってん (だから) ヨゴミ言うねけど (言うが) ヨゴメ言うね (言うのです) 此処ら。ヨゴメ餅 搗いて言うて、ヨゴメ 摘んで来て こさえて (作って)、今は (今は) 炭酸やけど (だが) 昔は 炭酸な (が) 無いもんで (ので)、焚いた灰を てのぐい (手拭) の袋のおて (縫って) それい (へ) 入れて 灰のあく (灰汁) で うでおったの (ゆでて居たのです)。そすと (そうすると) あくな (が) 抜けて ええよって (よいので) うでて (茹でて) 搾って 干しといて (ておいて) こんだ (今度は) しょうがつん (正月に) 餅 搗くよおん (に) になると くざけて (水に浸して) もどして それで ヨゴメモチ言うて 搗きおった (ました)。

よごめたばこ【名詞】 蓬の葉を乾燥させて煙草の代りにしたもの じばたばこ参照 [会話] よごめ (蓬) で ヨゴメタバコ。

よごめもち【名詞】 蓬を入れた餅 草餅 (志 (布施

田))
よごらかす 汚す 汚くする
よこりくつ(横理屈)【名詞】屁理屈 横車(志(布施田)) [会話] 言う事が すじが通らん(通らない) ヨコリクツ言うと すじな(が) 通らん事ばっか(ばかり) 言うて。
よごれ(汚)【名詞】月経(志、鳥、上、阿) [用例] 今日体なヨゴレトル(ている)。
よごれぶたく【名詞】仕事もせず 衣服も汚れたまま頓着しない者 ぶしよたれ参照 [会話] 普通の ぶしよおもん(不精者)は みなり(服装)は 普通にしても、仕事しやせんねけど(しないのだが)、ヨゴレブタクは 仕事もせんと(せずに) ぶらぶらしとるくせん(しているのに) なりふり構わんと(身なり構わず) 何処も彼も 汚れて やらし(嫌らしい) よおにしとんのおを(しているのを)。
よごれぶたく【名詞】不潔にして居ること 又その人よごれぶたくに同じ [会話] わがとなきもん(自分の着物)を 不潔ん(に)して ヨゴレボタクん(に)なって 着とんのも(着ているのも) 自堕落言うし。
よごれめ【名詞】汚れた所 [会話] ヨゴレメ 汚れたところ(所) 汚なくなったところを ヨゴレメ言うのな(です)。其処のヨゴレメもえごと(完全に) 拭いとけ(ておけ) 言うやんかな(言います)。
よごれめし【名詞】白米に対し混ぜ飯 [会話] ヨゴレタメシ 炊くときや(時は) なんでもこおや(具だ) 言うて。
よごれもん【名詞】汚れた物 汚くなった物 洗濯すべき物
よこわ(横輪)【名詞】魚名 黒鰯の幼魚(志、鳥、津、度、伊、尾、南、熊)
よこんなる 横になる 寝転ぶ
よこんねやせ 倒しておけ 立っているものを横にして おけ [会話] かいって(倒れて) 来ると 危ないよって(から) そっちゃい(そちらへ) 横にしとけ(しておけ) 言うのを、かいらかしとけ(倒しておけ) 言うのなあ(です) ヨコン(に) ネヤシトケ言うのを かいらかせ。
よさ【名詞】1) 夜 よさり参照(志(御座、布施田、浜島)、松、阿、上、度、尾、南、熊) 2) 夜を数えるのに言う語(志) [会話] 1) よさり(夜)の事 ヨサ言うて。
よさがた【名詞】夕暮れ時 夕方(志(志島、浜島、鵜

方、神明、立神、国府)、鳥(神崎)、北、尾、南)
[会話] 夕方の事をなあ(です)、ヨサガタ迄 待とて(ておって) 見たけど(が) こだったてやら(来なかったとか)、ヨサガタ来てくれえ(下さい) 言うて 夕方に来い言うの(のを)、ヨサガタ 来てくれえ。夕方言うの(のを) ヨサガタや(だ) 言うて、ヨサガタ迄 待とて見よまあえ(見なさい) 言うて。
よざかり(世盛)【名詞】最盛期 全盛時代 [会話] ヨザカリ言うな(のは) 家な(が) しんしょな(身上・財産・収入が) ええ(よい) 真っ最中のおりも(時も) あの家や(は) ヨザカリやなあ(だ) 言う時もあるし、全盛の時を ヨザカリやよってん(だから) 絶頂で 今し(今) 梶 横ん(に) 差しても 通る時やれ(だ) 言うて。
よざかり(夜盛)【名詞】夜中 [会話] よさり(夜)の時を ヨザカリ言う時もあるし。
よさごと【名詞】毎晩 毎夜(志(布施田)) [会話] 夜ずめ言うて、ヨサゴット 夜ふけまで仕事しとると(していると) かいだり(だるい) とか 寝ぶたい(寝むたい) とか。
よさや 晩には、夜は
よさよさ(夜夜)【名詞】毎晩(志(布施田)) [会話] 毎晩言う事を ヨサヨサ、ヨサヨサ来てまあ言うて、よお言うやんかい(よく言います)。
よさり【名詞】夜 夜分 特に今夜 今晚。吾郷の俗語に似て雅なるあり、夜を与左利と称す。(続卿談)。今俗に夜をよさりと、ようさりともしふは古き言いなり。催馬楽刺櫓歌に安止利、止利、与宇左利、止利とあり、朝取夕取といふことなり。(玉かつま)(志(畔名、浜島、越賀、片田、布施田、御座、船越、鵜方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥(国崎、桃取、相差、坂手)、桑市、員、三、四、鈴市、安、津、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南、熊) [会話] ヨサリん(に) なったら はよ(早く) 寝やなはざんわれ(寝なければいけない)、ヨサリん なって来たのん 言うて、子供ら わるう(叱る) 時ん(に) まあ(もう) ヨサリやよってん(だから) 早よ 家い(へ) 行けよお(行きなさい) 言うたり 夜、言う事 ヨサリや言うの(のです)。
よさがた【名詞】夕方(志(鵜方、神明、国府)、桑郡、三、一、多、上、阿、張、名)
よさりのつとめ【名詞】性交(志(布施田))
よし(葎)【名詞】竹の一種 ダンチク 段竹、ヨシタケ、イネ科の多年草。本州中部以西の海岸、河岸に自

生する。高さ2～4m、棹は中空で節が有る。葉は長さ60cmの幅広の剣状で、下部は鞘となって棹を包む。秋長さ30～50cmの円錐花序に帯紫色の小穂を密生する(志〔布施田〕) [会話] ヨシのきいな (木が) よお生えとりおったやんない (よく生えていたでしょう)、ヨシのきい (木) 言うて 山の方い (へ) 生える ヨシはふっとおて (太くて) はあ (葉) もひいろおて (広くて) するし。竹みたよおな (のような)、はあ (葉) も、ひいろおて (広くて) それで 男のこおらな (子が) 遊び事ん (に) 刀を 拵しらえてな やりやいいいおったわな (争いしていました) あのヨシのきい (木) で。

よしえる 寄せる 集める (志) [会話] ヨシエル言うな (のは) 波な 打ちヨシエテ来るのも言うし、仲間よせんのも (集めるのも) ヨシエル、集める。麦ヨシエル言うな (のは) 旧の正月 済んでくとなあ (で行くと) 麦よせ言うてな、土よせ言うてな、麦な (が) 生えとるやんない (ているでしょう)。そすと ここな (が) はさこん (隙間に) なって 此処な 青青しとるやろ (しているでしょう) そすと はさこの土を こっちの畝と こっちの畝と 両方い (へ) 寄せる言うてな 麦い (へ) よせごて (寄せて) 麦な (が) 乱だれてかんよん (て行かないように) すんねやろなあ (するのでしょうか)。集めるとか 寄せて来るとか、ヨシエル言うて。

よしお (よしほ) (夜潮) 【名詞】 夜の潮のよくひく時、夜の潮位 [会話] まあ ヨシオに行て (行つて) 見よまあ (見なさい)、ほんとん (本当に) 潮な (が) 一つも (少しも) 無いよおんなってて (ようになっていつて) こげんも (こんなにも) 無いよおん なってくもんかいなあ (なつて行くものだろうか) 思う程ヨシオは よおひくの (よく干くのです)。

よしかる 【感動詞】 宜しい (志〔布施田〕)

よしかた 【感動詞】 承知した (桑市、南)

よしず (葭簀) 【名詞】 蘆で編んで有る日除け 風除けの大きな簀 [会話] 立て掛けんのなあ (るのです)、なあがいの (長いのを) 今しゃ (今は) 立て掛けるやんかい (立て掛けて居ます)。昔や (は) うつつう (薄く) 編んであんのでも (有るのでも) 蘆で編んであんのな (有るのを) ヨシズや (と) 言うけど (が)、今しゃ どいらいのなあ (大きいのを) 軒い (へ) 立て掛けて 日な (が) 差し込んで来るもんで (ので) 雨も よけたりすんのなあ (するのです)。

よした 【感動詞】 1) 有難う 礼を述べる言葉 (志、

鳥(国崎)) 2) ほめる言葉 よくした (志〔甲賀〕) 3) 承知した [会話] 1) ヨシタ言うのは おおきん (有難う) 有難う言うのを ヨシタ言うのなあ (です)。男の人らな (が) よお使うわな (よく使います)、漁師の人らな (が) ヨシタ言うてな、有難お言う事をな。物もろて (貰らつて) 男の人ら、ヨシタ言うしなあ、女は ヨシタエエ言うてな、有難お御座居ます、今し (今) では言うのを それを ヨシタエエ言うの (のです)。がっこ (学校) の 成績やどけな (などが) ええと (よいと) よお (よく) 出来た言う事も有るしなあ (有ります)。

よしたええ 有難う 女性言葉 よした参照 (志) [会話] ヨシタエエ言うて、有難う言う事を ヨシタエエ言うて。おおきんえ (有難う) 言う人も有るし (有ります)。よけもろて (沢山貰つて) ヨシタエエ言うて。なんやかや (何彼) もろたり (貰つたり) してもろたり すると、礼言うのを 有難お言うのを ヨシタエエ言うて。仕事してもろて (もらつて) こげん (こんなに) よけしてもろて (沢山してもらつて) ヨシタエエ言うて。ヨシタ (よくした) うぐろ (土龍) よお (よく) 持ってくれた言うて、畑の うぐろな でんぐりかえして (ひっくり返して) 有ると 打つん (畑耕すのに) やいこおて ええんてや (柔かくてよいのです) うぐろな (もぐらが) 持ったあた (後は)、そやもんで (それで) ヨシタ うぐろ よお 持ってくれた言うて。そして (そうして) なんやかや人な (が) 持ってしとると (して居ると) その時も うぐろん (に) 例えて ヨシタ うぐろ、持ってくれて 言う時もあんね (有るのです)。

よしたさけん 頼むから

よしたまかせ 【感動詞】 掛声 頑張れ (度)

よしたよお 【感動詞】 有難う [会話] 昔の人ら (は) おおきん (有難う) 言うて、なんやかや (いろいろ) 貰らうと おおきん言わんと (言わずに) ヨシタヨオ言うて。

よしたよってん 頼むから

よしみ (好) 【名詞】 お陰で のために 人と人との交際 親しさ [会話] その ヨシミに 此れしてもろたてやら (して貰ったとか) 言う時ん (に) 使うやんかい (使います)。此れやった (あげた) ヨシミに 此れもおたね (貰ったのだ) とか、ほおばい (友人) の、ヨシミん (に) 此れもろたてやら、ほおばい のヨシミで 此れしてもろたてやら お陰で言う事やわい (です)。

よしや【副詞】宜しい 承知した [会話] おお ヨシヤ おんなしたる (俺がしてやる) 言うて、引き受ける時ん (に)。ヨシヤ そげな事なら (そんな事なら) おんなやったる (俺がしてやる) 言うて。此れ したてくれるかいてや (してくれますかと云へば) おお ヨシヤ言うて 返事する時ん (に)。此れ 持つて くれるかいてや、おお ヨシヤ おんな 行く時ん (に) 持ったる (てやる) 言うて そいな (そんな) 時ん 使う言葉や (です)。

よしよし【感動詞】1) よろしい (尾) 2) 順調だ

よじらかす (よぢらかす) (振) 【他サ五】1) ひねる ようにする 歪ます 2) 位置を移動させる [会話] ② ヨジラカシタレまあ言うて、たある (樽) でも 置いてあると とおんのん (通るのに) 邪魔なんのん (になるのに) ちよいと (少し) ヨジラカシタレ言うて、わきい (横の方) 寄せんのを (寄せるのを)。

よじる (よぢる) (振) 【他ラ五】振る ひねる 曲げる よじれる (よぢれる) (振) 【自ラ下一】振れる ねじれる 曲る [会話] よじれてたやんかあ 言うて、いがん であ (歪んでいった) 事を ヨジレル言うて。そやまあ (それ) いがん であない (で行った) 言うのを ヨジレタナイ (で行った)。

よしれん 計り知れない 誇大なこと 変だ (志 (布施田)) [会話] ヨシレン様な もんな (物が) おんな (居る)、なんかまあ (何か) えしれんよおなもんな (物が) あしこんあんねよお (あすこに有るのです) 言うて。なんやらかんやら (何か彼か) 判らへん (ない) よおななあ 判断の つかん様なもんな (物が) 有る言う事をなあ、ヨシレンもんやよお (物だ) あし こん 有るもな (物は) 言うのなあ。判断の つけ よな (ようが) 無い言うのを ヨシレンもん (物) 言うのなあ。

よすぎ (世過) 【名詞】世渡し 生活

よせ (寄) 【名詞】海岸に打ち寄せられた物が海岸線に沿って並んで居る所、またその物 (志 (布施田)) [会話] ヨセ言うのは 波打ち (波打ちぎわ) 行くと、ヨセな (が) 寄つとるやんかい (寄っています)。波な (が) 干いてくと (て行くと) 波打ちぎわん (に) よつとるとこ (寄っている所) を ヨセ言うの (のです)。

よせがう 土を寄せる 畝に土を寄せる 寄せる [会話] ヨセガウ言うのは 土をな こつちと こつちえ 寄せんねやんかい (寄せるのです)。かたつぱ (片一方) え すんねやなしんな (するのではなくて)

両方の畝へ ヨセガウの 土を。両方の畝い あげて かんと (あげていかず)に あげる言うのは ごしごと あげて 畝な (が) たつこおなるよおん (高くなるように) すんねなし (するのですし)、ヨセガウのは 畝い 寄せるだけやんかい (です)。

よせぎせ【名詞】麦の発芽後 麦の周囲に土を寄せること 土で覆う事もある [会話] 麦よせる 正月十六日すんだら 麦よせやな (麦よせなければ) 言うて、畝へ 麦な (が) 生えとるやんかい (生えているでしょう)、そすと (すると) それ かぶせたんねなしん (覆せるのではなくて) ヨセギセ言うて 土を 寄せん ねやんかな (寄せるのです)。

よせこむ 寄せ集める 自分の所に寄せる [会話] わ がとなとこい (自分の所へ) 皆 ヨセコムと かつこんで (掻き集めて) わがと (自分が) 言うて。

よせじき (寄敷) 【名詞】1) 台所の量の敷いてある所。2) 畳またわ板敷と壁の間を塞ぐため敷居と同じ高さに取りつけた横木 [会話] ① ヨセジキ言うて 畳敷くやんな (でしょう)、ヨセジキな (が) 落ちとる とこは (ている所) 板の間やんかい (です)。

よせつける (寄附) 【他カ下一】寄せる 集める 寄せつける

よせてもらう 訪問させて貰う、訪れる

よせる【他サ下一】集める

よそ (他所) 【名詞】他人 他家 離れた所 (志) [会話] ヨソ言うのは 布施田も 和具やなし (でなくて) ヨソやる (でしょう)。鶴方も ヨソやる。ヨソ、いて来るわい (行って来ます) 言うて、和具やなしに 他の村とか 町 行くを、まあ あのひた (人は) ヨソ行きすんねてわい (するのだそうです) 言うて、旅行行たり (行ったり) すると、働きん (に) 行く時でもな、ヨソ行きすんねてわい 言うて、此の村を 離れて行くのをな。ヨソの家い (へ) いたら (行ったら) 駄目だ 言う事な (です)。同じ村でも 他人の家な (です)。

よそいき (他所行) 【名詞】1) よそゆき 外出する事 よそへ行く事 旅行 (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、南) 2) 外出の時に着る衣服 晴れ着 改まった態度や言葉使い (志、桑郡、桑市、員、松、多、上、阿、張、名、伊、南) [会話] ① 旅する時も ヨソイキなし (ですし)、ちよいと (少し) 用事な (が) 有って行くのも ヨソイキや (だ) 言うて。② ちよいと (少し) ええふう (よい格

構)すると、ヨソイキのきもん(着物)着て言うて、言葉でも ちよいと丁寧な ヨソイキの言葉で言うて、そして(そうして) 寫眞うつす時でも 真面目ん(に)して あや(あれ) ヨソイキの顔やなあ(だ)言うて。普段しとらん(して居ない)格好したりすると ヨソイキや(だ)言うて。着るもん(物)も 他所、行く時や(は) ちよいと(少し) さっぱりするやんない(でしょう) ヨソイキの 大事ん(の・の)を)着て来たよお(来ました)言うて。言葉でも つねや(常は・平素は) やりくりみたよん(やりっぱなしのように) 言うとんのん(言っているのに) 丁寧に言うのと、ヨソイキの言葉つこて(使って)言うて、普段と違う格好とか 態度とか 言葉使いすると ヨソイキや(だ)言う。

よそいきことば【他所行言葉】【名詞】 改まった言葉(上、阿) [会話] しやれ(それ) いかんかれ、なんや(行きなさいとか) 言うとんやんない(言っているでしょう) それを 行きなさい言うよおん(ように)言うのを ヨソイキコトバ。

よそいきのかお【名詞】 真面目な顔

よそいきのきもん【名詞】 晴衣 外出着(鳥 坂手) [会話] ヨソイキノキモン言うのは、つね(日常) 着とるきもん(着ている着物)より ちよつと(少し) 気の利いた さっぱりしたのおを(のを) ヨソイキノキモン。

よそう(よそふ)【粧】【他ハ五】 1) 装う、飾りととのへる いかにもその様に見せる。2) 飯や汁を器に盛る。[会話] 2) 御飯ヨソウ言うのを、盛る言うのなあ。飯、盛ってくれ言うて、それを ヨソテクレ言うの(のです)。昔や(は) 飯もって言うて言よおったの(言っているのです)。今しの(今の) 子供ら 御飯、ヨソウ言うし。てっこおもって あやれ(あれ) 言うて、もやげる(盛り上げると) てっこおもって そげん(そんなに) てっこお盛たら 鼻い(へ) つかえられ(つかえる) 言うて、てんこもりの事なあ(です)。1) ヨソウ、綺麗に着飾る 綺麗にする、体をなあ(です) よそおいな(装いが) ええなあ(よいです) あのひた(人は) 言うて。

よそえん【名詞】 他の土地の人と結婚する事 [会話] 他所い(住む土地似外の所へ) 嫁入りしてくのなあ(して行くのを) 和具の在から 外へ ヨソエンや(です)、越賀や せだい(布施田へ) いても(行っても) ヨソエンや(です)。和具同志なら 和具いいたねてない(行ったのだそうだ) 言うけど(けれ

ど)、ヨソエンやなあ あの家や(は) 兄弟中な 他所やなあ(だ) 言うて、他所言うのは 和具以外の土地を、ヨソエン言うの。なんで(何故) 皆 嫌いおった(嫌っていました) 嫌う言うこた(事は) 無いけど(けれど)、昔や(は) 在所同志なら さあ言うた(言った) 時でも 間に合うけど 他所い(へ) いとると(行っている) さあ言うた 時の 間にも合はせんし(合はない)、なるだけなら 在所同志ん(に) 縁づけやええのん(よいのに) 言うて、誰でも、今し(今) でも 言うやんかい(言います)。在所同志は さあ言うた 時ん(に) ええけど(よいが) ヨソエンや(だ) 言う さあ言うた 時 はよ(早く) 電報打て 電話せえ(しなさい) 言うて、言わんならんやんない(言わなければいけないでしょう)。そやもんで(それなので) 在所同志は ええもんで(よいので) 在所い(へ) やりたいし 行きたいし するけど(けれど)、今は 土地な(が) ひろなって(広がって) 来るし、交際も広いし そやよって(それだから) 皆 ヨソエンで 行くけど(が) なるだけなら 在所同志や(は) ええわい(よいのです)。そやけど(それだけれど) 在所同志ばか(ばかり) はまらせんやんかい(はまりません)。嫁でも 婿でも もろたり(貰ったり) いたりせな(行ったりしなければ) 在所同志では おさまらんよおん(に) なって来たよって(から) するけど(けれど)、なるだけなら 在所同志な(が) ええわい。そやよって ヨソエンは しよことなしやわい(仕方無しです)。無しやけど(無しだが) 今は 他所いも(へも) 行たり もろたりせな(しなければ) 在所同志で はまらせんもんなあ(はまらないのです)。在所同志で はまらせん言うのは 在所同志で もらお(貰おう) 言うても にげな(人間が) 無いし、いこ(行く) 言うても 行くとこ所も無いし 在所のにげ(人間) だけでは はばからせんやんかい(治まりがつかないのです)。そやよって 出したり もろたりせな(しなければ) しよな無い(仕方が無い)。今しや(今は) わがとらな(自分達が) つきよとて(つきあって居て) 引つ張つて 来るし、引つ張られてくし、やんない(行くし、でしょう) 昔や(は) 他所の男らと そげんすんの(そんなにするのを) 嫌いおったもん(嫌って居たものです)。ヨソエン 嫁ん(に) いたり 他所から 貰ろて 来たりすんの(するのは) あんまり(あまり) 喜ろこばざつたやんかい(喜びませんでした)。

よそおい(よそほひ)【粧】【名詞】 身につける服装 用

具などを飾りととのえること 身支度 準備すること
よそう参照 [会話] 綺麗に着飾る、綺麗にする。ヨ
ソオイな (が) ええなあ (よい) あのひた (人は) 言
うて。

よそぎ (他所着) 【名詞】 外出する時の衣服 晴れ着
[会話] よそいきのきもんと 一緒にの事。

よそごと (余所事) 【名詞】 他の事 主題以外の事 す
ら参照 (上、阿) [会話] とおた (尋ねた) 事言わん
と (言わずに)、ほかの事言うとん (ているのを)、
ヨソゴト言うて ヨソゴト言うとる。

よそごとゆうとる 主題を外らして関係の無い事を言っ
て居る (志 (布施田))

よそする 1) 外出していて留守です 2) 旅行して居
る

よそばり (四艘張網) 【名詞】 敷網の一種で 正方形の
漁網を海中に沈め 鯖、鰯、鰺などを漁獲する。網の
四隅に四隻の舟が互にもやいを取り、方形を作りその
中に網を沈め魚群が網の上に来た頃見はからって四隅
の船が手綱を引き網をあげる。(志) [会話] ヨソバ
リ。越賀な (が) ヨソバリや (だ) 言うて、わが (和
具は) なんぼくや (だ) 言うて。越賀な (が) ヨソバ
リとか よてんばりとか よおすま (四隅) から 錨
やっという (入れて) するもんで (ので) よてんばり
言うて。

よそびと (余所人) 【名詞】 1) 他所の人 自分に関係
のない人 2) 自分の住む土地以外に住む人 [会話]
2) ヨソビト 他所の人言う事なあ (です)。自分の在
所やない (でない) 人を、ヨソビトや (です) 和具の
人や (で) 無い人を、あや (彼は) ヨソビトやなあ
(だ) 言うて いりびとと言うて。

よそぶね 【名詞】 当地の漁業組合に籍のない漁船、外遊
魚を獲り、他ところの港に水揚げする舟

よそみ 【名詞】 わき見 よそみする参照

よそみする 側目をする 他の物を見る [会話] ヨソ
ミスル言うのは、あっちゃみい (あちら見て) こっち
やみいすんのを (こちら見てするのを) ヨソミスル言
うて、きよろきよと よそみばっかなあ (ばかり)、
わきみしとる (している) のを。

よそめ (他所目) (余所目) 【名詞】 1) 他人の見る目
外見 見て見ないふりをする 2) 横目 流し目
[会話] 2) ヨソメ。よこめで ねらんでおこしたんよ
お (よこしたのだ) 言うて、睨む言うのを ねらむ言
うて。横目で ねがめつけておこして言うて、睨みつ
ける言うのを ねがみつける ねがめつける言うて。

しり目つこて (使って) 言うやんかい (言うのです)。
しりめつこて 横で こげんして (こんなにして) 見
ると しり目つこて 惚れとんねかして (惚れて居る
のか) しり目つことんねよお (使って居るのだ) 言う
て、色目使う言うて 男の人らん (に) 横目で、まとも
ん (正面から) よお見やんもんで (見れないので)
尻目で見んのを (見るのを) 色目使うねよお (使うの
だ) 言うて。男と おなご (女) と 寄ると ちょい
と (少し) 心な (が) あんのかして (有ると見えて)
色目使ことんねよお (使って居るのだ) 言うて。

よそもん (他所者) (他所物) 【名詞】 1) よその土地か
ら移つて来た者 他国者 (志 (布施田)、鳥、上、
阿、張、南、熊) 2) よその土地で獲れた物、作られ
た物 [会話] 1) よそびとも 一緒や (です) ヨソモ
ンも。

よそよそし 【形容詞】 通り一遍で親しみが無い。ヨソ
(余所) を重ねた語 (大言海)

よだ (夜田) 【名詞】 疲れる 夜遅く迄働く事 [会話]
日な (が) 暮れる迄働くと、今日は ヨダやったなあ
(だった) ヨダコイタなあ言うて。

よだおし 【名詞】 雑草 品名 不詳

よたか (夜鷹) 【名詞】 1) 夜遊びする人 夜間に出て
ぶらぶら歩く者 (志 (浜島、甲賀)、北、尾) 2) 街
頭に立って客を誘う娼婦の事を言う。他の娼婦がその
居住する家に客を誘い、或は客の求めに応じて接客場
所に行くのに反し、みずから街上に出て接客するのを
特色とする。直接 誘客せず媒淫者を仲介させる場合
にも娼婦自身がその場所に同行している。又接客場所
の不特定なのも一特色で有る。[会話] 1) ヨタカ言う
て よさり (夜) 遊びん (に) よけ (多く) 出ると、
あや (彼は) ヨタカで よさごとと (毎晩) 出てくね
ない (出て行くのだ) 言うて。2) 莫菴 抱いてしとん
の (して居るのを) ヨタカ言うやんない (言うでしょ
う)。そやもんで (それなので) 夜遊びすると ヨタ
カやなあ (だ) 言よおったの (言っ居たのです)。
ヨタカは 色売んのも (売るのも) 言うし、夜遊びす
るもん (者) を それん (に) 例えてあんの (有るの
です)。男も おなご (女) でも よさり (夜) よけ
(沢山) 出ると あや (彼は) ヨタカやよってん (だ
から) 言うわい (言います)。

よだこ 【名詞】 涎をいつもたらしている子供

よだこく よく働いて夜遅くなる (志 (布施田)) [会
話] 日がずんぶりいれる (入る) 迄 働いとると
(していると) 今日は よだやったなあ (だった) ヨダ

コイタなあ言うて。

よだち (夜立) 【名詞】 1) 朝、夜が明けぬ間に出発する事 2) 夜、旅立つ事

よだつ (弥立) 【自タ五】 立つ 異常な緊張感、寒さ恐怖などのため、ぞっとして身の毛が立つ おぞげ参照 [会話] おぞげみぞげな (嫌なので総毛が) ヨダツよおなれ (ようだ)。

よたつく よろめく よたよたする

よたもん 【名詞】 与太者 素行不良の若者 (張) [会話] ヨタモン言うな (のは) 酒飲み みたいなの (のようなのを) 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。怠けもん (者) とかなあ。酒 飲んで 年中 飲んだくれ、みたよんしとる (のようにしている) 人とか、仕事もせんとしとる (せずにしている) 人を ヨタモン言うねやろなあ (言うのでしょうか)。

よたよた 【副詞】 おぼつかないさま 不安定なさま (志 (布施田)) [会話] ヨタヨタしとる (して居る) 言うて、ぐたぐたしとんのお (して居るのを) ヨタヨタしとんなあ (して居る) 言うて。ぐれんそお (酔いつぶれた状態) なったよおん (に) して 歩いとる (て居る) 人見ると、あや (あれ) ヨタヨタしとんなあ、酒ん (に) 酔おて しとる (して居る) 時も有るし、具合な (健康が) わりて (悪くて) 体な (が) しゃんとせん (しない) 時でも ヨタヨタしとんなあ、あや (あれは) まだ 体な (が) すぐれやせんねなあ (健康でないのだ) 言うて。酒のおで (飲んで) あゝ あゝ言うて くだまいてしとんのおを (して居るのを) ぐれんそおやよってん (だから) 言うわい (言います)。子供な (が) 歩きかけた時ん (に) ヨタヨタとか よちよちとか よちよち歩き、ヨタヨタと危いわれ (危険だ) 言うて。倒れて来そおにした時を、ヨタヨタしとる 言うのなあ (言うのです)。ふらふらしたよおんしてて (に)して居て。

よだれかけ (涎掛) 【名詞】 乳幼児の頸から胸にかけて当てる布 よだれを吸い取るためにつける

よだれくり (涎繰) 【名詞】 いつも涎れをたらしている者 よだれたらしと同じ (志 (鶴方)、尾、北)

よだれたらし (涎垂らし) 1) いつも涎を垂らして居る事 又その人 2) 馬鹿 [会話] 1) 涎 今し (今の) 子ら よだれ よけ (あまり) 垂らさせんよおななあ (垂らさないようです)。昔の子ら 涎 垂らして 胸な (が) 合羽ん (べたべたした物が乾燥した状態に) なりおった (なつて居ました)。あんご (顎) も びちょびちょしとりおったけど (して居たが)、

今し (今) あげな (あんな) 子ら見やせんなあ (見ません)。今しゃ (今は) ついとて (て居て) 拭いてくれるよって (から)、一人ほらくつとかせんやんかい (放っておきません)。昔や (は) ほったらかしでやんない (でしょう)、畑や たあ (田) や 磯いこ (海女作業行こう) 言うて、子供みたよなもん (のよなもの)は ほったらかしやんかい (です)。今しゃ ちょおはいにして、ちょいとしても (少しの事でも) 口 払いてくれて しとるよって (して居るから)、涎 垂らしとる (て居る) 子は無いけど (けれど)、昔や (は) ほったらかししとたよって (して居たから) ほんどん (本当に) こおん (子に) かもとる (かまってる・世話をする) 時や (は) 無かったやんかい (有りませんでした)。ヨダレタラシ言うな (のは) ほんどん 涎れ垂らしとんのおと (て居るのと)、²⁾ ちょいと 足らん (のを) あんごしなあ (のだ) こあんごしよって (少し馬鹿のだから) あやまあ (彼は) 抜けとんねなあ (て居る) もやしな (が)、ちょいと (少し) 足らんねなあ (不足している) 言うて、ぬんたやてわれ (抜けた者だそうだ) ぬんたらたんやれ (馬鹿者だ) 言うて。“ぬんた言う たあ (田) へ あほお (阿呆) 言う ほおな (穂が) 出たねやれ (出たのだ) あや (彼は)” 言う (言います)。ヨダレタラシ言う時は ヨダレクリとも言うなあ (言います) 涎くって あやれ (あれ) 言うて、あやなあ (あれは) 毒なあんねなあ (病気が有るのです)、毒な (の) 有るにげな (人間が) もの言うても (言っても) 涎たらし じょおつく (いつも) ひとり (自然に) だらだらと 涎な (が) 出とりおった (出て居ました) そして (そうして) 臭いんてや (臭いのです)。○○んこな (こ 女性の名前の後につける 目下又は同輩が) じょおつく (いつも) だらだらと 涎な (が) 出とよおった (出て居ました)。ほしてしたら (そうしたら) △△さん (人名) な (が) おまや (お前は) 毒な (が) あんねやら (有るのか) 判らせんよって (ないから) かぎ薬せええ (しなさい) 言うて、△△さんな (の) 友達がおって (居て) かぎ薬や (だ) 言うて、ひうけたけみたいな (火吹き竹のような) 竹の筒い (へ) なんやら (何か) 薬をしといて (しておいて) それを ひい (火) つけて けぶりみたよんして (煙のようにして)、めつぷうしといて (密封しておいて) かんだら (嗅いだら) 治ったね 涎れ垂らしな (が)。そして どお (樽) こんどると (漕いでいると) すがつとると はあはあ言うて その息な (が)

どいらい (大変) 嗅いんてや (のです)。そして (そうして) はぐき (菌莖) も なんやら (なにか) はれた よんしとりおって (ようにして居て) そしたら それも じっぱん治ったね (立派に治ったのです)。

よちこく 手こずる よち (夜更け、夜も遅い頃 島根県美濃郡 益田市) と関係あるか [会話] てこずる言うのを ヨチコク言うんかい (言うのですか)。

よちよ 【名詞】 膝から下の足の部分 下腿部、又は下肢 (志 (布施田、浜島)) [会話] ヨチヨな (が) ながい (長い) 言うのは、すね (膝) から 下な (が) ながい (長い) のをなあ、ヨチヨな (が) ながい 言うて。お前ら ヨチヨな (が) ながい よって (長いから) 歩くの ん (のに) 早いなあ言うて。

よちよち 【副詞】。よちよちあるき 【名詞】 老人 幼児 重い物を持った人がよろけるように、たどたどしく歩くさまを表す語 また その歩く様子 よたよた参照 (志 (布施田)) [会話] 子供 な (が) 歩くきかけた 時ん (に) よたよたとか、ヨチヨチとか、ヨチヨチアルキ言うのも有るし なあ (有ります)。

よつ (四) 【名詞】 丸太を四つ割にしたもの ぼん参照 (志 (甲賀)) [会話] 丸太 二つん割ると ぼんや (だ) 言うて、四つ ん (に) 割った なあ (のは) それも ぼんや (だ) 言う けど (が)、ヨツや (だ) 言う人も有るし。

よつあし (四足) 【名詞】 獣

よっか 【副詞】 沢山 よっけに同じ (志 (越賀、片田、越賀、浜島))

よっかど (四角) 【名詞】 十字路 道の縦横に交った所 四辻

よつぎ (世継) 嫡子 (志、鳥、阿)

よっけ 【副詞】 量や程度の多いさま 沢山なさま たくさん ひどく (志 (越賀 浜島)、鳥) [会話] ヨッケもろたよお (貰いました)。沢山言う事を ヨッケ 言うて、ヨッカ あんど (有ります) あしこに (あすこに) 言うて、沢山有る事を あしこい 行くと ヨッケあんど 言うて。ヨッカ有って もろて来たよお (貰って来ました) 言うて、ヨッケとか ヨッカとか よかとか言うて よけも言う (言います)。

よっしゃ 【感動詞】 宜しい 承知した (阿、張、名) [会話] よしや言うのは、ええ (よい) 言う 事やろけど な (です)、なんやかやしてくれ (いろいろして下さい) 言うて 頼むと、男の人 らな (が) よしや言うて まあ 引き受けた言う よおな意味やなあ (です) 男の人 な (が) これしてくれ とか言うて 頼まれる やろ (で

しょう) その 時ん (に) ヨッシャ言うやんない (言うでしょう) 引き受けた言う 事やろな。

よっしんえいえい。よっしんこいこい 【感動詞】 網を引く時の掛け声 櫓拍子 (志)

よった 【接尾語】 した して居た (志、一、北) [会話] 笑い ヨッタ 笑い おった言うね (のです)。ヨッタ言わんと、まあ せんぎり (十分に) なんやかや (いろいろ) 言うてな 笑い おったわい (です) とか、泣き おったわい (です) 言うてな わろて (笑って) 居ました言うのを 笑い おった言うのな (です)。

よった (寄) 1) 集まった 寄り集まった 2) 波打ち 際に打ち上げられて海藻などが集まって居る [会話] 1) みんな (皆が) ヨッテキタ。此処 い (へ) ヨッタ。用事 い (に) 行く 時ん (に) ちよいと (少し) 訪れ ん (る) のを ちよいとヨッテクワイ (少し寄って行きます) 言うて。そして あの人 な (が) ちよいとヨッタれ (少し寄りました) 言うて 訪れて 来たのおを。寄り集まる言うのも有るし。2) 荒布 な (が) ヨッタ、もおな (藻が) ヨッタ とか、てんぐさな (天草が) ヨッタ 言うてな、浜から 打ち上げられて して くんの を (来るのを) まあなれ 今日は もおな (藻が) よっとんね (寄っているのだ)、もお (藻) 拾い んいこや (に) 行きましよう)。 てんぐさな (天草が) よっとんねてわれ めえな (若布が) よっとんねてわれ (寄っているそうだ) 拾い んいこや 言うてな。

よっただけうち (四竹打) 【名詞】 大道芸人 物貰い よっただけ 扁平な竹片を両手に二ケづつ持ち、掌を開して鳴らす楽器。カスタンネットに類する物で、放下師が用いた。[会話] ヨツダケウチ言うのな (のが) 来よ おったのお (来て居ました) 竹の篋を ふたあつ (二ケ) はさけ といて (挟んでいて)。

よったて 寄って下さい 立寄って下さい

よったてて 立寄っても

よったり (四人) 【名詞】 四人 ヨタリの促音化 (広辞苑) (志、多、熊) [会話] ヨツタリ でも、五人でも テーブルん (に) 座って くうね (食べるのです)。

よったれ 1) 立ち寄りました 2) 位置を少しずらしなさい

よつぢゃ 【名詞】 午後の間食 (南、熊)

よつつじ (四辻) 【名詞】 道の四方に分かれて十字形をして居る所

よって (寄) 集まって [会話] 集まって来る言うのも、ヨッテ。 みんな (皆が) ヨッテ なあ言うてな 今日 は まあ よろや (集まりましよう) 言う のなあ (で

す)。

…よって(因)【接続詞】【助詞】故に だから 理故
原因を表す。ヨリて(因)の音便(大言海)(広辞苑)
(志(布施田)、鳥、桑市、鈴市、安、松、多、阿、
張、度、伊、尾、北、南、熊)【会話】 そやヨッテン、
どおやれ(それだからどうだ)言うて、そやヨッテン
ダ そいな事すんな(そんな事するな)言うねやれ
(言うのだ)。そやヨッテン(に)言うて。それする
ヨッテン(に) はざんねやんかあ(駄目なのだ)言う
て そいな(そんな) 事すんな(するな)言うて 言
うのん(に) するヨッテンダ言うて。それだから言う
のの(のを) それやヨッテンなれ ほん(本当に) のな
(お前が) なつたんやれてやら(なつたのだとか)言
うて。 そいな(そんな) 事するヨッテンダ言うて。

よつで(四手)【名詞】鉞 鉞の刃が四本に分かれたも
の とぐわ参照(志(布施田)、鳥(菅島)、桑市)
【会話】 まぐわ言うな(のは) ヨツデ言うて、四つし
とんの(しているのを) まぐわ あや(あれは) 畑や
たあ(田) おこすのん(耕やすのに)。

よつてかかって 多勢の人が寄り集まって(志)

よつてかかる 寄り集まる(志)【会話】 みんなな(皆
が) ヨツタカッテ来て言うて。 よけ、よつて(沢山
集まって)来たのを 沢山 よつて来た事をなあ、ヨ
ツタカッテナあ言うて、そして 一人の人を 責め
る時な(が) あると、そいな(そんな) 言葉使うのな
ヨツタカッテナあ わし(私)を みんなな(皆
が) 責めてなあとか言うて。

よつてくる 1) 集まってくる 2) 寄り道をする
【会話】 1) みんなな(皆が) 集まって来る。皆な
(が) 集まって来てなあ言うのを みんなな ヨツテ
キテナあ、ごつそ(御馳走)して食べたり 歌 うと
たり(うたったり)してなあ言うてな、そいな(そん
な) 時ん(に) ヨツテクル。

よつてくわい 1) 近寄ります あんたとこい(貴方の
所へ) ヨツテクワイ 2) 立ち寄ります 帰るん
(に) あんたがい(貴方の家に) ヨツテクワイ

よつてけ 1) 寄って行け(度) 2) 退きなさい【会
話】 2) あんた(貴方) ちよいと(少し) そつちい
(そちらへ) ヨツテケ言うて、狭い時な(が) 有るや
んな(でしよう)、もおちよいと(少し) ヨツテケエ
言うてな、退いて言うのをな。 1) わしがい(私の家
へ) ヨツテケエ まあ 行くつんでん(ついでに)言
うて、わしや(私は) 家い(へ) 帰る つんでん あ
んたがい(貴方の家へ) よるわい(寄ります) 言うの

な(です)。そすと あんた(貴方) 俺家い(へ) ヨ
ツテケ、おまや(お前は) 行くつんでん 言うし、そ
したら よろかいなあ(寄りましょうか) 言うの(の
です)。

よつてけ 選んで行け

よつてけえ 1) 退きなさい 少し位置をずらしなさい
よつてけ参照 2) 立ち寄りなさい

よつてけえ 選んで行きなさい

よつてたかって 寄り集まって よつてたかる参照

よつてたかる より集まる 多人数の人が群れ集まる
【会話】 みんなな(皆が) ヨツタカッテキテナあ、
よおけよつて(沢山集まって)来たのを 沢山よつて
(集まって)来た事を、ヨツタカル言うて。ヨツテ
タカッテ わし(私)を みんなな(皆が) 苛めてな
あ言うて。

よつてに。よつてん【接続詞】よつてに同じ 故に だ
から ので 理故 または 原因を示す よつて参照
(志)

よつてんだ【接続詞】よつて よつてんに同じ 故に
だから【会話】 そげん(そんなに) するヨッテンダ、
そやみたけんの(それ見た事か) 言うて どん(下
手) な事すると。

よつとこせ【感動詞】行動を起す時の掛け声【会話】
仕事して 重たいもん(物) 持つおりん(時に)、や
つとこせ ヨツトコセとか どつこいっしょとか 掛
け声する時ん(に)。

よつとんね 寄り集まって居るのだ

よつとんねてわい。よつとんねてわな。よつとんねてわ
れ 寄って居るそうだ

よつびで(夜一夜)【名詞】終夜 よがなよおじゅう参
照(志(布施田、浜島、神明、立神)、鳥、松、上、
張、名、度、伊)【会話】 ヨッピデ こや(これは)
おらな(俺が) 負けやれ(だ)、ヨッピデ こや(こ
れは) おらな(俺が) せなはざんわけやなあ(しなけ
れはいけない事だ)言うて。

よつひとぶ【名詞】四分の一【会話】 ヨツヒトブ言う
んかい(言うのですか)、四分の一言うのを よつわ
りひとつ(四つ割一つ)とか、みつ割りひとつ(1/
3)とか言うて 三つに分けた 一つを言うのなあ
(のです)。三つ割ひとつぶ 貰ろてこかいなあ(貰
って行きます)とか、四つ割ひとつぶ貰らをかいいなあ
(貰いましょう)言うて。 一つのもん(物)を 四
つん(に) 分けたのおを(のを) よつわけひとつぶ。

よつぼど【形容詞】余つ程 よきほどの転 程度が甚だ

しいさま たいそう 随分 普通の度を越えて居るさま。ヨホドの音便(大言海)ヨキ(善)ホドの転(広辞苑)(志(磯部、浜島、鶴方)) [会話] ヨッポド 痛かったんやろなあ(のでしょう)、泣いとたんよおたら(て居ましたとか)言うて、あや(彼は)ヨッポド 好きかして(と思へて)酒な(が)日にもあい(間)にも ぐれんそおん(ぐたぐたに酔って居るに) なつとられ(なつて居る)たら。えっぼど えっぼどやれ(だ) そいなこた(事は)言うて、偉い人らん(に) こげんして(こんなにして)すると ええんなあ(よいのに)とか言うて、おらん(俺に)おせごた(教へ事・指示)エッポドのもんやれ(者だ)言うて 怒って来る人な有るんなあ(有ります)。

よっぼろ【形容詞】 余程 よっぼどに同じ(志、上、阿) [会話] よっぼど言うのを ヨッポロ言うんかい(言うのですか)。そや だら だろ よお言わんにげやなあ(人間です)その人はなあ。ヨッポロ言うのは 舌な(が) まあらせんねわい(ないのです)。

よづめ【名詞】 夜爪 夜爪を切る事 親の死目に会えないと思ひ、又 世を結めるとして嫌う(志)

よづめ(夜詰)【名詞】 1) 夜通し 夜おそく迄働く事(志(布施田)) 2) 徹夜の看病 3) 通夜 [会話] 1) ヨヅメ 昼づめ言うて、よさり(夜) よさごと(毎晩) よなべ(夜業) したりすると、よさごとと ヨヅメばっかしとて(ばかりして居て)、体な(が) 疲れて言うて、ヨヅメで 疲れたなあ言うて。よなべ したり よさり いつ迄起きると ヨヅメばっかで言うて。2) 病人を 夜通し看護しとる(して居る) ヨヅメして 看護で疲れて言うて。夜 詰める言うて 夜 そこむいて(其処へ向って) いて(行って) いろんな(色々な) 仕事すんのを(するのを) ヨヅメや(だ) 言うなあ(言います)。ヨヅメ 昼詰めで えらいなあ(大変ですね) 言うて、夜 昼 えらいなあ言うのを。

よづり(夜釣)【名詞】 夜間にする釣 [会話] ヨヅリ 言うな(のは)、鳥賊 釣りんいたり(に行ったり)、よさり(夜) 漁に行く事を。

よつわり【名詞】 物を四つに分けること 又その分けたもの [会話] ヨツワリ言うな(のは) 四つに割んの(割るのを) 四分の一。

よつわりひとつ。よつわりひとつぶ【名詞】 四分の一 よつひとつぶに同じ

よてんぱり【名詞】 よそぱりに同じ(志(布施田))

よどおし(よどほし)(夜通)【名詞】 終夜 一晩中

(志(片田、布施田、御座、浜島、安乗)、鳥(答志、板手)) [会話] 夜がな夜中の事。ヨドオシ 今日 起きとた(て居た) 言うて、ヨドオシ 歩いて来た言うて。昔や(は) 伊勢行くと いといて(行っておいで) すぐに 逢坂道 ヨドオシ 歩いて来た言うて、一晩中 歩いとる(て居る) 言うのを ヨドオシ言うて。ヨドオシ ねやらった(寝なかった) とか、ヨドオシ 仕事したとか言うて 夜中中(ヨナカヂュウ・一晩中) しとるとさいご(して居る時) ヨドオシや(だ) 言うて、朝迄しとる(して居る) 事を ヨドオシしとたよお(して居ました) 言うて 夜がな夜中も一緒や(です)。

よとぎ(夜伽)【名詞】 終夜、側に居て仕へる事。病人の看護などで夜通し寝ずに側に付き添う事 お通夜などで 夜を通して起きて居る事 又、通夜(志(船越、布施田、浜島、甲賀、鶴方)、鳥、松、桑郡、桑市、員、鈴市、安、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、熊) [会話] お通夜に行くのも ヨトギ言うしなあ(言いますし)、こおもおけても(子出産しても) 昔や(は) ヨトギん(に) いか(行かなければ) 言うて 二、三日のうち(間) ヨトギや(だ) 言うて、昔や(は) しよおったけど(して居ましたが)、今しや(今は) そいなことは(そんな事) 迷惑で しやせんけど(しませんが)。昔は もおける迄(出産する迄) 仕事しよおったやんない(して居たでしょう)、そやよって(それだから) もおけると(産むと) ああ思うのおで(ので) ぐたつしとるもんで(して居るので) ヨトギして 寝流れてかん(て行かない) よおん(に) 言うて 疲れて 寝流れてく(て行く) 人な(が) あったんやろん(有ったのでしょう)。寝流れてく言うて そんながり(そのまま) 寝きってて(て行って) めえ(目) 覚さらった(なかった) 人な(が) 有ったんやろん、そやもんで(それなので) 寝流れてくとはざんよって(いけないから) 言うて、二、三日のうちゃ 親兄弟 こいごしもん(者が) 二、三人つ(位) 行きおったわい(行って居きました)。

よどみ(澁)【名詞】 水が流れないでたまっていること またその所 河水の流れの静かなところ

よどむ(澁)【自マ五】 流れがとどこおり水がたまる。流れがとまって動かなくなる 沈む [会話] 流れの事やなあ、ヨドンデキタンてわれ(そうだ) 言うてなあ。おっとりしとて(ゆっくりしていて) 流れな(が) 悪い言うよおな意味やなあ(です)。ヨドム言うてな。

よとよと【副詞】頼りのないさま、ふらふらしているさま
ま よいよい参照 [会話] よいよいになった言うて、
ぶらぶらやよお (だ)、ヨトヨトやてやら (だとか)。

よな【副詞】ような (鈴郡、安、一、松) [会話] 言葉
の尻い (後へ) つけて あいな (あんな) ヨナ事して
言うて、なんしてもなあ (何をしてても)、おおた あ
んげな (あんな) 事してとか あいな (あんな) ヨナ
な事してなあ言うてな あいな事したらはざよかれ
(駄目だ) とか言うの (のです)。おおた あいな
ヨナ事ばつかしとんねない (ばかりしているのだ) 言
うて。どん (下手) な事しとんの (しているのを) 見
とるとなあ (見ていると)。

よなか (夜中)【名詞】夜の最中 夜 [会話] ヨナカ
サナカ迄さおんで (さわいで) 言うて、よがなよおじ
ゅう (夜がな夜中) さおんどると、ヨナカハットキ迄
さおんどね (さわいで居るのだ) あの若い衆らな
(が) 言うて、ヨナカハットキ言うて よお言うやん
かい (よく言います)。はっとき言うて 時間の事を、
ときやよって (だから) ヨナカハットキ言うて、夜
中も すんどる (すんで居る) よおな時を言うんやろ
なあ (言うのでしょうか) ヨナカサナカも言う意味は
一緒やけどなあ (です)。

よなかおき 朝にならない時間に起きる事 (志 (布施
田))

よなかさなか【名詞】真夜中 よなか参照

よなかずくつとる 熟睡している (志 (布施田))

よなかはととき【名詞】真夜中 夜中法変時 よなか参
照 (志 (布施田))

よなき (夜啼)【名詞】夜中に泣く事

よなきしとる うずうずする 何かしたくてたまらない
力、金が有り余る [用例] 腕なヨナキシトル ぜん
なヨナキシトル。

よなぬか【名詞】死後 二十八日 [会話] なななぬか
とか (七、七日)、いっなぬか (五、七日) とか、ヨ
ナヌカ言うて、一週間に 一遍つすんのなあ (するの
を)。

よなべ (夜鍋)【名詞】1) 夜 仕事する事 夜業
(志 (鶴方)) 2) 夜の性交 (志) [会話] 1) ヨナベ
なあのおたり (縄なったり)、アサヨナベ 朝早よ
(早く) 起きてすると アサヨナベ、よさり (夜) い
つまでしとると (して居ると) ヨナベ。ヨナベ ひる
なベ アサヨナベ 昔は 早よ起きて 三時頃ん
(に) 起きて 藁 打つと 隣近所な (が) 喧ましよ
って (から) なあのおたり (縄なったり)、じょおり

(草履) 作ったり、アサヨナベしよおった (して居ま
した)。ヨナベ言うのは 夜 御飯 食べてから 十
時頃迄いつ (も) じょおり 作ったり、あした (明
日) 買い山い (立木を買う事へ) 行く なあのおたり
すんの (縄なったりするのを) ヨナベ言うて。アサヨ
ナベも なんなとせな (何かしなければ) 言うて、
朝 早よ起きると 夜な (が) 明けて来るまで 時間
な (が) 有るもので (ので) なんやらかやら (何彼)
仕事すんのなあ (するのです)。

よなべしごと【名詞】1) よなべにする仕事 2) 性交
(志 (布施田))

よなみ (世並)【名詞】世間なみで有る事

よにもない 非常に珍しい (志 (布施田))

よね (米)【名詞】米

よねる 捏ねる 混ぜる [会話] こねくる まめぐる
こねくったり ヨネタリ言うて。

よのいつの【名詞】布団の大きさ (松、伊)

よのく 退く (志 (布施田)、鳥、度)

よのなか (世の中)【名詞】世間 [会話] 世間の事を、
ヨノナカは そお甘く無いわ言うて、ヨノナカの事知
らんねよって (知らないのだから) 言うて。家ん
(に) ばっかおって (ばかり居て) どころも (何処へ
も) よそへ出たこたのおて (事は無くて) 世間知らず
やよってん、あいな (あんな) 事言うんやれ (言うの
だ)。ヨノナカのこた (事は) 判かんねなし (判かる
のでなくて) 言うて。

よのめさのめ【名詞】朝晩 (志 (布施田)、津) [会話]
ヨノメ サノメ 寝やせんねない (寝むらないのだ)
言うて、寝やさせん (寝させない) 言う事やろなあ。

よのめなあわん 眠れない [会話] ヨルノメナアワン
夜の目、寝やさんで (寝ささなくて) 言うて 夜の目
や (だ) 言うて。

よのめなあやれん 心配で眠れない (志 (布施田))

よのよの【名詞】布団の大きさ (一、松、伊)

よばい (よばひ) (夜這)【名詞】男が女の寝所へ忍び入
って情を通ずること よばん参照 よばいは元来呼ぶ
事の意で結婚を意味した婚で有るが次第に意味が変化
した (三重県全域) [会話] ヨバイ言うのをなあ、ヨ
バンシ言よおったなあ (言いました)。ヨバンシな
(が) よけ (沢山) 来てなれ言うて。

よばいぐさ (婚草)【名詞】植物 おのまんねんぐさ
(雄万年草) ペンケイソウ科の多年草。多肉質で茎は
茎部から多く分布し地面をはい、節からひげ根を生じ
る。葉は長さ2〜3cmの線形で先が次第に尖り、三

枚ずつ輪生する。初夏茎の先端が細かく分枝し黄色の五弁の花が連なって咲く。めひしば（雌日芝）イネ科の一年草、雑草。高さ50～90cm、穂の下部は地に伏してはう。葉は線形で葉鞘に白い毛を生じる。7～11月掌状に花穂をつける。小穂は緑色を帯び、被針形で長さ約3mm。[会話] 草でも 芝のほっそおいのな（細いのが）有るやんない（でしょう）あれをヨバイグサや（だ）言うの（のです）。何処い（へ）でも ほおててなあ（這っ行って）、芝みたよん（のように）はあなほっそおおて（葉が細くて）茎もほっそおてなあ（細くて）、ねえ（根）は 方方いい（に）ほおてて 足つけて、どっこい（何処へ）でも ほおてくもんで（這って行くので）ヨバイグサや（だ）言うて 芝に よお似とるわい（よく似ています）。

よばいし【名詞】 夜這いをする男 ヨバイ参照（志（神明、立神、国府））

よばよ 頂きます よばれよう 食べよう

よばよかいなあ。よばよかいねえ 御馳走になりましたうか 頂きましか [会話] 御馳走を たべ（食べなさい）言うやんない（言うでしょう）そすと いただきます言うのを ヨバヨカイナア言うて 言うの（のです）。

よばよかいのお 御馳走になります 頂きます [会話] ヨバヨカイノオ言うのも よばよかいねえ（頂きましか）も 一緒や（です）よばよかいなあ言うのも ‘の’ も ‘な’ も一緒や（です）。

よばれ（呼）【名詞】 御馳走 招宴される（志（神明、浜島、越賀、布施田、片田、鶴方、立神、志島、甲賀、国府、安乗）、鳥（答志）、桑郡、久、松、阿、尾、南）

よばれごと【名詞】 御馳走をするような行事 冠婚葬祭で人を呼び馳走すること（志（国府、浜島）、鳥（相差））[会話] ヨバレゴトな（が）有って 忙がし言うて。

よばれた 御馳走になった [会話] 御飯 頂いた言う事を ヨバレタ 御飯もヨバレテナあ言うの 御飯食べた事をな。

よばれてきたわい 宴に招かれた時の挨拶 招かれて来ました

よばれてく 招待されて行く

よばれてこや。よばれてこやんかい。よばれてこやんかな（女性語）。よばれてこやんかれ 招待されて行きましよう よばれる参照

よばれど【名詞】 招待された人（志（船越、鶴方、神明、

立神、甲賀、国府））[会話] ヨバレド言うな 招待されてく（されて行く）人を、ヨバレドな（が）くんねよって（来るのだから）家も掃除しとかな（しておかなければ）言うて。

よばれめし【名詞】 米の御飯（志）[会話] ヨバレメシ 米の飯を、ヨバレメシ たっからかして（沢山炊いて）言うて。

よばれる【他ラ下一】 1) 招宴を受ける 響応を受ける 馳走に招かれる、呼ぶの意から御馳走になる。（志（浜島）、鳥（坂手）、桑市、鈴市、津、松、阿、張、名、伊、北、南）2) 呼び出される [会話] 1) ヨバレル言うて よお言うなあ（よく言います）。御馳走ん（に）なりん（に）行く事を ヨバレに行く言うの（のです）。ヨバレテコヤ（よばれて行きましよう）結婚式ん（に）招待されて行くのを ヨバレテク（行く）言うの（のです）。嫁どりい（へ）ヨバレテコヤ言うて、あの家や（は）嫁どりでよんでくれんねてわれ（呼んでくれるそうだ）おらも（俺達も）言うて。あの家や（は）年忌で 呼んでくれんねてわれ ヨバレテコヤんかれ 言うたり（言ったり）、七夜（命名祝）すんねてわれ、七夜で よばれて来い 言うてきたれ（言って来ました）、ヨバレテコヤンカレ（呼ばれて行きましよう）言うて。御馳走に なりん（に）行く言う事を ヨバレル 言うの（のです）。よばれ言うと 御馳走を ヨバレテク（て行く）言う事。棟上げでも なんすんのでも（何するのでも）御馳走して 招待される事を ヨバレテク 言うの（のです）。よばれごとな（事が）あつて、忙してまあ言うて。2) 分署い（へ）ヨバレル言うのも 有るけどなあ（有ります）警察い（へ）ヨバレル。分署言うのは 波切の分署 昔の人は 警察い（へ）呼ばれた言うのを 分署いよばれて 巡査にわるわれて（叱られて）言うて。**よばん【名詞】** 夜這い よばい 男が求婚して女のもとに通う事 元来男が女の所に通う婚姻形式が一般的で有ったが後、嫁入り婚が支配的になると次第に不道德なものと考へられるようになり、夜這いなどと解されるようになった。よばい参照 [会話] 夜這いし言うのを よばんし言うて “ヨバンしにくや（しにくれば）さいらくよ（秋刃魚やろうと）くよと さいら獲てくや（獲って来れば）沙汰も無い” 言うて 夜這いしに来て 寝やしてくれ（寝させてくれ）言うて、さいらもて来て（秋刃魚持って来て）くれるよって（から）寝やしてくれ 言うて。さいらで 釣って寝るわけやわい（です）。そと（すると）さいらとて

来ると（獲って来ると）音沙汰も のおて（無くて）。
昔や（は）暗がりやし（ですし）ヨバンしいにいても
（しに行っても）わからせんし（ないし）おるとこ
（所）探すのん（に）マッチぱっぱと つけて。そ
やよって（それだから）危いよってん（から）言うて
やかまし（喧ましい）言うて 怒る家も有るし（有り
ます）。よけ（あまり）わるうと（叱ると・怒ると）
あの家の 大戸口い（へ）榎さがらかしといて来た
（吊しておいて来た）言うて 戸 開けると ごとと
打つよおん（に）わりこと（悪い事）して。よけ、わ
るうと（あまり怒ると）よばんしな（が）来ると 足
音して来ると 親らな（が）聞き耳たてとて（て居
て）誰や（だ）言うて わるうもんで（怒るので）は
いられやせんやんない（入れないでしょう）そすとさ
いご（そうするとその時）あの家い（へ）行くと い
つでも あの爺な（が）怒って くんねよってん（来
るのだから）わり事しよおや（しましう）言うて
榎を なあい（縄へ）しばつといて（くくって）大戸
口い（へ）真んちい（へ）さがらかして（吊して）戸
開けて 頭 打つよおん（に）そげんして（そんなに
して）わり事して有る言うて、榎 さがらしといて
（吊しておいて）来た、頭うちゃったやろんなあ（壊
しただろう）言うて わるとんね（笑って居るので
す）。

よばんし【名詞】夜這いする男 よばん参照

よびごと【名詞】招待 よぶこと（鳥（答志））【会話】
よばれごとの事かい（ですか）御馳走して ヨビゴト。
よびすえられた 何度も呼ばれた 来る迄（行く迄）呼
ばれた【会話】幾ら呼んでも 行かせんとだ（行か
ないと）呼んで 呼んで 来る迄呼んどるやんか（呼
んでいます）そいなのおを言うんやろなあ（そんなの
を言うのでしょうか）ヨビスエラレタ言うてなあ。

よびつかい（よびつかひ）（呼使）【名詞】催促 催促の
使者【会話】何回も 使いに行くのなあ 催促。何
回でもそげんして（そんなににして）ヨビツカイ 受け
とらんと（ていなくて）行かんかれ（行きなさい）言
うの（のです）。

よびみず（呼水）【名詞】ポンプ井戸で水が切れたのを
導くために注ぐ水 さそい水

よびもん（呼物）【名詞】人気の高い物 評判の高い物
よびものの詛

よぶ（呼）【他バ五】1）招待する 招く 供応する
馳走する（志、鳥（桃取、鳥羽）、桑市、三、鈴市、
安、津、松、伊、南）2）嫁を迎え入れる 3）呼び

戻す【会話】¹⁾ あの人 ヨボヤンカレ（呼びましょ
う）言うて、ごつつおして（御馳走して）あの人 呼
ばなはざんわれ（なければいけない）。³⁾ 其処らい
（へ）いとんの（行つて居るのを）よおで来いまあ
（呼んで来なさい）言う時も有るし（有ります）。²⁾
嫁さんを、家い（に）ヨブ もろてあんねけど（貰つ
て有るのだが）まあ（もう）二年も三年も おいてあ
んねよって（親の所に居るのだから）ヨバナはざんわ
れ 言うて、こちらい（へ）来て貰うのを ヨバナは
ざん。ゆんべや（昨晩は）嫁よおで（呼んで）言うて、
出るも祝、入るも祝やよってん（だから）言うて、ご
つつおして 親戚中 ヨブ（招待する）家な（が）有
るわい（有ります）。よおでもろて（呼んで貰って）
行くねてない（行くのだそうだ）言うて。嫁さんを
自分とこへ（所へ）ヨブ言うのも有るし、ごつつおし
て、人をヨブ言うのも有るし、³⁾ ほして（そうして）
他所い（へ）いとるけど（行つて居るが）家い（へ）
ヨバナはざんわれ 仕事な（が）忙がしよってん（忙
がしいから）言う時も有るし、帰つて来い言うのを。

よぶごと【名詞】呼ぶ事 呼び集める行事【会話】親
戚の ヨブゴトでも有ると、あの家や つぼつとけ
（省いておけ）とか はぼつとけ（省いておけ）とか
言うて。

よぶね（夜舟）【名詞】夜 漕いだり帆走したりして航
行する舟。夜 航海する事【会話】ヨブネ（夜船）
言うな（のは）、よさり（夜）航海するのを 昼間あ
らしなのおて（風が無くて）、帆な まかれやせんと
（揚げられないと）、よさりん（夜に）なると 又
どつからでも（何処からでも）風な（が）出て来るよ
ってん（から）、そのあらし（風）受けんのん（受け
るのに）ヨブネ 走るわい（走ります）。ひんなか
（昼中）は 港ん（に）つないどて（で居て）よさり
走んの（夜走るので）。

よぶよりそしれ【俚諺】噂をすれば影 その人の話をし
ていると当人が現れる事

よぼし（夜星）【名詞】百姓が夜遅く迄働く事

よぼしかく 夜遅く迄働く

よばよば【副詞】【名詞】【形容詞】老人などが 衰えて
弱々しい様子であること【会話】よいよいになつと
んのおを（なっているのを）、よとよとやてやら（だ
とか）ヨボヨボやてやら（だとか）言うて。

よました 読ませた（三重県全域）

よました 麦に水分を含ませ柔らかくした

よましむぎ【名詞】麦飯を炊く時、麦だけ先に水分を含

ませ柔かくした麦 よます参照（志（布施田）、阿、多）

よます 麦飯を炊く前に麦のみ 先に煮て水分を含ませ柔かくする えます えまし麦。麦を湯煮すること。麦を飯になさんとて其の前に湯煮するを麦をヨマスと言うは吾党の方言にて他に通ずる辞に非ず。然してヨマスはエマスの通音なり。エマスは咲（エマ）す也。凡て栗などの皮を破りて己と実の現れるをエミ破ると云う。麦を煮て熟すれば白身のはぜ出て笑み破るに由て咲すと云ふ也、亦凡てヨミ破ると云ふは人の咲ふ時は唇を開く故に、咲めるが如く開くと云ふの意なり、咲の訓も好（スミ）すると云ふより出たりなり。是も人心に好する所あれば口を開いて咲ふ故也。麦を湯煮してふやすを俗にかくいふは麦一升が四升にふゆる故也といへり。（伊勢の浜荻）（志（鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗）、鳥（鳥羽）、津、松、多、度、伊）〔会話〕 麦 ヨマス 麦 ヨマサナはざん（なければいけない）言うて、ちよいと（少し）にやす（煮る）事を 煮立てといて（ておいて）おいとくんやんかい（置いて置くのです）朝迄。朝迄 ぬらしといて（浸しておいて）あした（明日）の朝 炊くの（のです）。それを ヨマス言うのなあ（のです）。麦 ヨマシトカナはざん（ておかなければいけない）すぐん（に）炊くと ばちばちしとるもんで（して居るので）くざけて（浸して）のばしといて（ておいて）かして（洗って）ヨマスと 開くんやんかい（開くのです）そすと 朝 御飯炊くな（のは）それい（へ）ちよいと（少し）米 入れて。そして とんぼの頭（麦）炊っからかして（炊いて）。今しの（今の）若いもん（者）は 米を研ぐ 米 あろとけ（洗っておけ）言うもんで 洗濯粉を 入れてした言うて 洗う言うもんで（ので）。昔は かせとか とげとか言うたね（言ったのです）。

よまいごと 埒もないこと、見当外れのこと（上、阿）

よまん 読まない

よまんかい。よまんかな（女性語）。よまんかれ 読みなさい（志（立神）、鳥）〔会話〕 本 読むのかい（ですか）。それヨマンカイ言うてな、はよ（早く）ヨマンカレ言うて よまかいなあ（読もうか）言うて読むにげや（人間は）言うし、ヨマンカレ言うのは人に 読め言う事やし（ですし）。よまかいなあ言うな（のは）自分が 読む事やなあ（です）。

よみ（読）【名詞】 計算 考へ方 現在の状況から将来

を判断すること 〔会話〕 考へ方も あっさいし（浅いし）なんも出来ん（何も出来ない）言うよおな意味やろなあ（でしょう）ヨミ言うのは。

よみこむ【他マ五】 計算に入れる 数の内に入れる 〔会話〕 なんかすんのに（なにかするのに）それ 頭かずに ヨミコム やんない（でしょう）。あいなもんなあ（あんな奴は）頭かずやれ（だ）あや（彼は）なんも（全く）間に合おかれ（合わない）言うて。

よみちんひはくれん【俚諺】 遅くなったら急いでも仕方ない（志（布施田））

よみなふかい 深慮深い、よく考える

よみぬくい 読みにくい 読むのが困難だ 先の見通しがつかない（松、尾）

よみのくい 読むのがむづかしい 先の見通しがつかない 〔会話〕 読みにくい言う事を ヨミノクイ言う人 な（が）あんのなあ（有るのです）。ヨミノクウテ、ヨミノクウテ、こんななあ（此れが）漢字ばっかで（ばかりで）とか、万葉がなで おら（俺は）よお読まんわれ（読めません）言うて。

よみもん（読物）【名詞】 読むべき物 書物

よみや（夜宮）【名詞】 祭の前夜 宵宮（志（鶴方、浜島）、鳥（答志））〔会話〕 祭の前日 まえび（前日）の事なあ（です）、そやけど（それだが）他所は言うけど（が）此処らは ヨミヤ言うこた（事は）言わせん（言いません）。じんじん（神事祭り）の まえびや（と）言うけど（が）、昔や（は）前夜祭や（だ）とか言うて そいな（そんな）こつべたこた（こうへた・生意気な事は）言わらった（言わなかった）。祭りや（だ）言うたてて（言った所で）前夜もしやせん（しません）ほん（本当に）その日 当日だけ 潮かけなら 潮かけ、おしよおじ（御精進）なら おしよおじだけするだけで、そげん（そんなに）まえびから さおがらった（さわがなかった）。初午やなるとか言うて、前祝いすんねてわれ（するそうだ）言うて、本祝いする前に たるぐちあけや（樽口開けだ）言う事を言うなあ（言います）。まえ日にすんのを（するのを）前祝い 樽口開け言うて、たある（樽・酒樽）を 口開けて 親戚中な（が）ごつつお（御馳走）の まえの日にすんのを（するのを）。初午の前祝い言うな（のは）四十一の時に らいにや（来年は）、初午や（だ）言う年ん（に）今年や（は）前祝いや（だ）言うて。結婚式やとか（だとか）初午やとか（だとか）言うて 大祝いする時に今日は 樽口開けや（だ）言うて、まえ日に おみき

(神酒) 頂くのはするけど (しますが) 今日は 樽口
開けや言うて 一番しまや (終わりは) まな板洗いや
(だ) 言うて まな板洗いで こえ持ちして 昔や
しよおった (して居ました)。

よみや 読めば (鈴郡) [会話] それ ヨメヤ ええん
やんかれ (よいのだ) 言うてな、それ ヨメヤ ええ
んやんかれ、ええ (よい) 事な (が) 書いてあんのん
(有るのに) 言うて、読みなさい言う事を ヨメヤ
ええんやんかあ。それ読め言うたり、読まんかれ (読
みなさい) 言うてな。

よむ 【他マ五】数える 計算する (一、飯、上、阿、張、
名) [会話] 数 ヨム言うて、計算すんのも (するの
も) 読む言うしなあ (言います) 数 ヨメマア言うて。

よめ (夜目) 【名詞】夜の明かりで物を見る事

よめ (嫁) 【名詞】妻、夫が妻を言う時

よめ 数えよ 読みなさい (志) [会話] ヨメ言うのも、
かぞえよ言うのを。それ 読んでみよまあ (見なさ
い) 言うてな 物をかぞえるのも言うしなあ (言いま
す)。

よめいり (嫁入) 【名詞】結婚式 嫁ぐ事 (志 (立神))
[会話] 嫁さんに行くのをなあ、ヨメイリや (だ) 言
うてなあ。ヨメイリしたんでわれ (したそうだ) 言う
て、嫁さんに行く事をなあ。そすと 貰う方は 嫁も
ろたんでわれ (もらったそうだ) 言うてな。

よめいりどおぐ (よめいりだうぐ) (嫁入道具) 【名詞】
女陰 [会話] はよ (早く) 囲わなはさんわれ (なけ
れば駄目だ) ヨメイリドオグ ほりだして言うて、子
供らな (が) 腰巻せんとおつても (せずに居ても) わ
りやんな (悪いでしょう)。そやまあ (それ) ヨメ
イリドオグも 囲わな、昔や (は) ヨメイリドオグ言
よおったね (言って居たのです) ヨメイリドオグ 放
り出して言うて。

よめえ、**よめええ** 読みなさい (志)

よめさん 【名詞】若妻

よめする 1) 嫁に行く 2) 結婚する [会話] 2) 出
戻りな (が) 子供連れて ヨメスルと、こぶつきや
(だ) 言うて。

よめどり (嫁取) 【名詞】婚礼 嫁貰い (志 (国府、鶴
方)) [会話] 嫁入り 嫁ん (に) 行くこた (事は)
嫁入りなし (ですし)、貰うのは ヨメドリ。ヨメド
リせな (しなければ) 言うて 男の方は 言うし (言
います) 娘の方は 嫁入りせな 言うし。嫁入り よ
めり 言うて。

よめな (嫁菜) 【名詞】植物 のぎく 野菊 晩夏から

秋にかけて咲く、山野に野生する。ヨメナやその類似
種の総称。キク科の多年草で頭花の周辺の舌状花が淡
紫色又は紫紅色、中央の筒状花は黄色で径3cm内外。

(三重県) [会話] ヨメナ言うな (のは)、野菊の事
を言うんやんかい (言うのです)。七草の時ん (に)
春の日に むすこ (息子、男性器) を 連れて ヨメ
ナ探して さい (菜、副食、妻) にする言うて、ヨメ
ナ 探しんいて (探しに行つて) おかずにする言う事
を 息子 (男性器) を連れて 嫁 探しん (に) 行く
も それい (に) 例えて ヨメナ探して さい にする
言うて、妻にする言う事を。ノギクの事を言うんやん
かい (言うのです)。

よめなかし 【名詞】ささげ (豆) の一種 はたささげ。
あずきささげ参照 [会話] ヨメナカシ言うのは あ
ずきささげの事。ヨメナカシ言うのは よけ (沢山)
なんの (なるのです) すずこなんねけど (鈴生りにな
るのだが) ちっちゃおて、うまないの (小さくて旨ま
くないのです) そして もじくのん (もぐのに) よけ
(沢山) もじかんならんもんで (もがねばばらないの
で) 嫁な (が) 泣くねやんない (のでしょう)。

よめなごき 【名詞】1) 嫁合器 嫁の茶碗 浅くて小さ
な碗 2) 貝 ツタノハ科の貝 ヨメノカサガイ 潮
間帯の岩礁部で最も普通に見られる笠形の貝。殻は扁
平で殻長4cm内外の楕円形。殻底には多くの放射肋
が有り灰色の地に黒褐色の斑円紋が不規則に散らばる。
内面は強い真珠光沢が有る。どびごき参照 [会話]
2) 磯ばた (海岸) に ヨメナゴキ はずして来て あ
っさあいの (浅いのです)、ふっかいと (深いと) 嫁
や (は) 飯 よけもるやんない (沢山よそうでしょ
う) ヨメナゴキ 言うな (のは) あっそおて (浅く
て) しいろお (白く) うっすい (薄い) 貝で べたん
としとんのおを (しているのを) ヨメナゴキ言うて。
1) 嫁の茶碗の事 言うの、あっそおて よけもられや
せん (沢山よそえません)、小皿よけ (より) あっさ
いわい (浅いです) ふっかいと 嫁や (は) 飯 よけ
(多く) 盛るやんない ヨメナゴキ言うな (のは) あ
っそおて (浅くて) ほん (本当に) かんびんたんみた
よんしとんの (よく乾いたようにして居るのです)。
しいろお うっすうい (うすい) 貝で べたんとしと
んのおな (して居るのが) 有るやんない (有るでしょ
う)、あれは ヨメナゴキ言うやんかい (言います)。
嫁な (の) 茶碗を ヨメナゴキ 言うの (のです)。
あっそおて なんもはいらせんね (少しも入らないの
です) ほん (本当に) 小皿よけ あっさいわい。昔や

(は) べっつんも (特別に) 嫁、憎みおった (居ました)。

よめのおぼ【名詞】 嫁、嫁様 [会話] ヨメノオボ言いおった (言っていました)。俺家の ヨメノオボな (が) 言いおったね (言っているのです) 嫁さんの事をな。

よめのわん【名詞】 小さくて浅い 椀

よめはしたからもらえ【俚諺】 嫁は自分より格式の低い所から貰いなさい (松) [会話] 嫁さんは 貧しい家から貰うとなあ えらそぶらせんやんない (偉らぶらないでしょう)、そやけど (しかし) 金持ちや (資産家) の家から来ると 親元 (実家) を 鼻にかけて えらそぶって (偉らそうにして) その家を見下げたりするやんない、そやもんで (それで) ヨメハシタカラモラエ 言うの (のです)。自分の家より格の上った 嫁さん貰うと 嫁さんの方な (が) 見識な (が) つよおて (強くて) 親も ないがしろんして来るよってんなあ (から)、貧しいとこの (所) 子らはなあ へえへえ言うて 言うとするやんない (言っているでしょう)、そやよって (それで) ヨメハシタカラモラエ言うの。

よめはん【名詞】 嫁さん (上、張、名)

よめまあ 読みなさい (志 (立神、甲賀))

よめまあえ 読みなさい

よめもらい【名詞】 結婚 結婚式 (志 (越賀、鶴方、神明、立神、国府)) [会話] 長男は 嫁 貰う事になっとて (なっていて)、あの家や (は) 嫁 貰うんてわれ (のだそうだ) 言うて。嫁 もらいん (いに) いて (行つて) 呉れ言うて、世話してくれ (下さい) 言いおったんなあ (言っていました)。結婚式の事 ヨメモライ。

よめもらう 結婚する 婚約する

よめよぶ 実家に居る嫁を夫の家に入れる (南) [会話] ヨメヨブ言うてな、昔や 二年とか三年とか 結婚しても 親元 (実家に) おりおったやんかな (居たでしょう・居たで有りませんか)、それを こっちい (こちらへ) 呼ぶ事な (を) すん (するのを) ヨメヨブ言うて こちらへ 本格的に来る事をな 嫁 呼ばな (なければ) まあ言うの (のです)。

よめり【名詞】 嫁入り 嫁に行く よめりの略 (大言海) (志 (浜島)、鳥 (答志、桃取)、桑市、員、鈴市、鈴郡、安、津、一、久、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾、北、南)

よも 読もう (一)

よもかい 1) 読んであげましょうか 2) 読みません [会話] 1) おんな (俺が) ヨモカイ 読んできかしよかい (聞かせましょうか) 言うて。2) あんな (彼が) めったん (決して) ヨモカイ言うて。

よもかいなあ 1) 読みます 2) 読もうか 3) 読まないであろう [会話] 1) ヨモカイナア言うな (のは) 自分が 読む事やなあ (です)。

よやがる 寄りあがる 寄り集まる [会話] ないざ (波打ち際) へ 皆 ヨヤガッテ 掻き集めんの (集めるのです)。

よやく【名詞】 病気の手当 与 (佛語、病気に応じて、薬を与えること) から出た語か [会話] 吐いたり下したりすると 今しゃ (今は) 医者屋い (医者へ) そらかすけど (走るが) 昔や (は) 家で まあ ヨヤクしてなあ。

よやげる 寄り集まる 寄りあげる [会話] ヨヤゲル 言うのは ヨヤガル、よっけ (沢山) 集まってくんの (を (来るのを) ヨヤガッテキタ言うんやんかい (言うのです)。若布でも なんでも 浜い よっけ 寄ってくんのをなあ (来るのを)、ヨヤガッテキタ言うの。どっさり 寄って来た事を ヨヤガットル (ている) 言うの (のです)。にげ (人間) でも よおけ集まっとると (ていると) ヨヤガットンネ (ているのだ) 言うの (のです)。沢山 あつまる事を ヨヤゲル 言うのなあ (のです)。

よらずさわらず 無関係で居る (阿、張、名)

より【寄】 1) 集まり 一ヶ所に集まる事 会合 集会 (志 (片田、鶴方)) 2) 集まり具合 集合状態 [会話] 1) 今日は 仲間のヨリや (だ) 言うて、同窓会で寄ったり、ほおばい (朋輩、親友) 同志な (が) よんの (寄るのを) ヨリ、自分らの仲間が 会合する事を ヨリや 言うて。老人会しよおや (しましょう) 言うのを 老人会のヨリな (が) あつて言うて。よる 言うのは 集まる 大勢で 集まる事を。

より【擬】【名詞】 ねじって、からみ合わせること また そのねじったもの [会話] 糸のヨリ。ヨリな (が) 弱いとか。ヨリやつとけ (与えよ) 言うな (言います) ねじんのをなあ。

…**より【格助詞】** ~しか よりも よりほかの転 (志、津、阿、張、北)

よりあい (よりあひ)【寄合】【名詞】 集会 (桑市、多、上、阿、張、名、度、熊) [会話] ヨリアイ言うのは、集まん (る) のを ヨリアイ言うし。貝でも よりあいにし言うてな よりあいにし言うのな (が) 有るわ

い (有ります)。

よりあいにし。よりやいにし【名詞】産卵のため螺が寄り集まって居る状態 れいし (志 (布施田)) [会話] ひととこん (一ヶ所に) バケツ 一杯も 寄つとる (よって居る) 時な (が) あんね (有るのです)。こおする (産卵する) 言うんかいなあ (言うのでしょうか) ヨリアイニシは。

よりあいぶしん (よりあひぶしん)。よりやいぶしん

【名詞】家に不幸があった時 親類 縁者を始め多くの人が集まって農作業を行うこと (志) [会話] ヨリアイブシン 言うのは、みんなな寄ってなあ (皆が集まって) みんなな てつどてなあ (手伝って) 普請する時 ヨリアイブシン言うの (のです)。家 建てるだけやなしん (でなくて)、畠仕事でも 昔しゃ (は) 葬式な (が) 有るやんない (有るでしょう)、そすと 汲取りも なんも無いよって (全く出来ないから) おおぜ (大勢) 集まって来ると 溜まるやんかい (溜まります)。おしっこ (小便とかが) や なんな (大便が)、そすとな 肥持ちや (だ) 言うてするし、初午ん (に) 呼ばれてても (ていっても) 嫁どりん (に) なっても、人な (が) おおぜ 寄ると 便所な (が) つんで 一杯ん (に) なるもんで (ので) 目出たい後や (とか) 不幸事の後には 家の人らな (が) すぐん (すぐに) 働かれやへんやんない (動けないでしょう)、そやもんで (それで) みんなな ヨリアイブシンで したるや (してやろう) 言うてな、みんなな (皆が) いて (行つて) 肥持ちしいおった (して居ました)。普請言うのは 家建てるだけやなしん 仕事手伝う事 ヨリアイブシンに 行こや (行きましよう) 言うね (のです)。

よりあう (よりあふ) (寄合)【自ワ五】互に集まる 集合する

よりいと (繕糸)【名詞】木綿の縫い糸 [会話] ヨリイト言うのと。色して繕ってあんの (ねじてあるの) ヨリイト言うやんかい (言います)。赤や白で してあんの (あるのを) ヨリイト。わがとらな (自分達が) よんのも (振るのも) ヨリイトん (に) して言うて、ヨリイトん (に) したり よりなあん (繕縄に) して、昔や (は) みいこ (三ヶ) にして 下駄のはなわ (鼻緒) も しよおった (して居ました)。竹のかあ (皮) を、しめしといて (ておいて) すると やいこおなんね (柔らかくなるのです)。それ巻いてすると さんざり (乾燥した状態) しとて (して居て)、藁ばかや (ばかりだ) 言うのと、しめりけな (湿気が) 急に

ひいてかせんけど (引いて行かないが) 竹のかあ (皮) 巻くと、雨ん (に) 濡れても じっきん (すぐに) さらっと乾いてくもんで (乾いて行くので)、昔や (は) 竹のかあ (皮) のはなわしよおった (鼻緒して居ました)。

…よりか **【格助詞】**…よりも 二つ以上の物を比較するのに用いる (志、三、上、阿)

よりくず (よりくづ) (選屑)【名詞】よい物を選んだ後の屑

よりこ (寄子)【名詞】泊り屋に寄り集まって来る若者 その家で寝泊りする者 [会話] ヨリコ言うな (のは) 泊り屋い (へ) 寄って来る にげ (人間)、友達から 連れて来て 寄って (集まって) 遊んで また わいとも (お前も) 寝てけてや (寝ていけと言へば)、おお 寝てこかんね (行こうかな) 言うて ごろねして そげんしてしよおったのなあ (そんなにしてして居たのです) あそびやい (へ) 行て。

よりさがす あれこれと選ぶ えりさがす [会話] ヨリサガス言うな (のは)、えって (選んで) えって、あんな、ええやか (あれがよいだろうか) こんなええやか (これがよいだろうか) おもて (思つて) ヨリサガシテ。

よりさがす (寄) あちらこちらに寄る 道草する (南)

よりしお【名詞】沖から陸へ向う潮流 さかしお参照 (志)

よりしよ (寄所)【名詞】若い者が寄り集まる所 よりば [会話] ヨリシヨ言うのも よりばも一緒の事、泊屋言うのな (です)。泊屋言うのな (が) よお (よく) 有りおったわな (ました) 泊屋言う時は 家が狭いとか なんとかして 広い家い (に) 行きおったん やるなあ (行つて居たのでしょうか)。昔や (は) ちっさあい (小さい) 家い (に) おりおったもんなあ (住んでいました)、一間しか (より) 無いよおな家に。そすと (すると) まあ わかいしゅに (若者に) なつて来ると いろいろと有るよってん (から) 泊屋い (に) 行きおったんやるなあ (行つて居たのでしょうか)。一間やそこらでは なつとも出来やせんし (なんとも出来ません)。

よりぞこ。よりぞこしお【名詞】東の沖から陸へ向う潮流 さかしお参照 (志)

よりつき【名詞】出合った相手から受ける最初の印象

よりつぎ【名詞】糸をつなぐ一つの方法 両方の糸の端を解いて 両端を捻じり合わせて連ねる [会話] ヨリツギ言うて、つなげん (結なぐ) のんなあ (に)、

針で 分からしといて (分けておいて) そして その真ん中い (へ) なあ 片方を入れて、よって (拗って) こっちゃもよって (こちらも拗って) すんのを (するのを) ヨリツギ言うて。ええもん (よい着物) こしらえと (作と) つなげび そ (結び玉) すると、たかばって (高くなつて) わりもんで (悪るいので) ええもん する時や (は) ヨリツギせなはざんわい (しなければいけません) 言うて。

よりと。よりとふぐ【名詞】 かなふぐ (まふぐ) きんぱく参照 (志)

よりなもどる 1) 呆ける ねじがもどる参照 2) 物事がもとどおりになる 男女の仲が快復する [会話] 1) 捲な (が) きちつといとたのおな (していたのが) 弛んで来た時に にげな (人間が) ほおけて (呆けて) 来ると ヨリナモデル。

よりによって こともあらうに、特に選んで

よりば (寄場)【名詞】 より集まる場所 特に若者の夜の集合所 [会話] より集まる場所 ヨリバ。若いし ゆう (衆) らな (が) とまりや (泊屋) 言うて 有つて、五人、六人つ 泊つておりおつたねやんなあ (居たのです)。そすと 結婚して 嫁もおたり (貰らったり) すると、その家のたいしよな (主人が) なこと おや (仲人親) して呉れてなあ そおゆう 仕来たり な (が) 有りおつたんなあ (有りました)。

よりば (寄場)【名詞】 集合場所 大勢の人の集まる所 広場 [会話] ヨリバ言うな (のは) ひととこい (一ヶ所に) みんな (皆) 寄つてくんねてや (来るのです)、子供らな (が) みんな そこい (へ) よんね (集まるのです)。石ヶや (字名は) ○○屋の前な (が) ヨリバデ あしこい (あすこへ) 皆 寄つていて (ておいて) 大人 通つても 今しみたよん (今のよう)に 車や (だ) なんや (だ) 言うて 言わせんね よつてん (言わないのだから)、遊んだりしても あしこは ひいろいもんでなあ (広いので) かくれんぼしたりして よお (よく) 遊びんた (に行きました)。がつこ (学校) へ行く時でも 遊ぶ時でも そこい (へ) 寄つて来るし、遠いとこ (所) のもな (者は) がつこい 行く時みたよん (のよう)に 寄つてきやせんけど (来ないが) まあり (付近) のもな (者は) 皆 寄つて来るわい (来ます)。

よりばなわ【名詞】 二本以上のものを捲り合せた鼻緒 [会話] ヨリバナワ言うのは ふたこ (二重) によつて (捲じて) したの (のを) ヨリバナワ言うて、よつたのするし。くげばなわ言うのは くけてなあ 一つ

ののおえ (のへ) 入れてなあ 一本にすんのなし (するのです)。ヨリバナワ言うのは 二つんのおを (ののを) のおてすんの (なつてするのです)。

よりましお【名詞】 西の沖から陸へ向う潮流 さかしお参照 (志)

よりみち【名詞】 1) 道草 2) 途中で立ち寄る事

よりもどき【名詞】 1) 釣り糸につけて 釣り糸のねじれを自然に元に戻すようにするもの 縫りをもどくもの よりもどし (縫戻) 2) 海女の身につける綱の途中につける縫りを復元するための金具 (志、鳥) [会話] 2) ヨリモドキ言うのはなあ こげな (こんな) 鉄のもんで (物) なあ、したのでな、くるくる くるくる 回うとなあ 磯いて (海女に行つて) 底いつとても (潜つていても) くるくるもおてな (廻つて) 綱い (へ) よりな (捻じりが) 行かせん (行きません) それを ヨリモドキ言うて。

…**よりや** …よりは 二つ以上の物を比較する時 (員) [用例] こつちや (こちら) ヨリヤ あつちや なええ (あちらがよい)。

よりやい【名詞】 1) 寄合 話し合いや親睦のため人が集まる事、又その集まり (上、阿、名) 2) 一方的な労力奉仕 手伝い [会話] 1) ヨリヤいな (が) 有つてなあ言うて、集まりな (が) 有つてなあ言うの (のを)。皆な (が) 集まること 集合する事や (です)。2) ヨリヤいや (だ) 言うて 昔や (は) 仕事ん (に) 追われると (遅れると) 親戚のどこそこな (が) 病気で追われとて (て居て) ヨリヤい (助けてやる) せな はざん (しなければいけない) 言うて、寄つて みんな (皆が) 仕事したんの (してやるのを) ヨリヤいなあ (です)。ヨリヤい言うのは そげんして (そんなに)して みんなが 助けてくれる 助けやいの事な あ (です)。友達同志な (が) よつて お喋りして 喰うてすんのも (するの)も ヨリヤい言うし (言います)。それむいて (向かつて) 集めるのおが (のが) よる。

よりやがる よやがる 1) 寄り集まる 召集する 2) 大波などで海岸に打ち寄せられる (志 (布施田))

よりんよつて してはいけない事 話してはいけない事を行なう よりによって

よる (寄)【自ラ五】 集まる 集合する より参照 (志、度、三、鈴市、安、張、北)

よる【他ラ五】 選ぶ (志 (浜島))

よる【他ラ五】 縫る もむ 交互にねじる (志 (布施

田))

よる 脇に退く 少し位置をずらす(熊)

よる【自ラ五】近づく 近ヨル 立ちヨル

よる【自ラ五】ゆれる ゆれ動く 地震なヨル

よるひる(夜昼)【名詞】昼も夜も 二十四時間 常に絶えず

よるよなか(夜夜中)【名詞】夜の最中 まよなか(志(布施田))

よれ【形容詞】多いさま 沢山なさま 寄りから(志(御座、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥(安楽島、石鏡)、度)【会話】 そい なもな (そんな物は) 浜いきや (へ行けば) ヨレや れ (だ) 言うて。 ヨレや (だ) 言う な (のは)、 沢山や (だ) 言う の (のを)、 よっけ有る言うの (のを) ヨレやれ そげなもな (そんな物は) 言うて。 そいなもな (そんなものは) あの家いきや (行けば) ヨレや れ、 浜いきや (行けば) ヨレン (に) おっとられてや ら (落ちて居るとか) 言うて。 よけ (沢山) 有る言う事 ヨレトル 言うのも 一緒や (です)、 沢山有る 言う事 や (です)。

よれた ねじれた 【会話】 ごおなわいて (腹が立つて) はらわた な (が) ヨレ ない言うて。

よれた 沢山ある

よれてく 振れて行く

よれてく 群がる 沢山集まる

よれとる 沢山ある よれ参照(志(布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、度、北)【会話】 そいなもな (そんな物は) よれやれ (沢山有る) 言うて ヨレトル 言うのも 一緒や (です)。 ヨレトル 言うのは よおけ有んのをな (沢山有るのを) 言うの な (です)。 沢山有る 言う事を ヨレトル わい

よれとる 振れている

よれやれ。よれやわい 沢山有る よれ参照

よれよれ【形容詞】折れ目切り目も判らずしまりのない様(志(布施田))

よれる【自ラ下一】振れる

よれる 沢山有る 【会話】 よれとると 一緒の事や (です) ヨレル 言うてな。 なんか 沢山あんのもな (有るのも) ヨレル 言う や る (でしょう)、 そすと 振れてしとるやんない (しているでしょう) それを ヨレル 言うてな。

よろい(よろひ)(鑑)。よろいがこい【名詞】1) 家屋の外壁に横に少しづつ重なり合うように打ち付けた長

い板(度(小俣))2) 破れた着物 【会話】 2) 鑑兜 きもん (着物) も、 あや (あれ) ヨロイみたいん しとんない (のようにして居る) 言うて、破れて来ると 破れて ヨロイン (に) なる迄 着とんない (着て居るのだ) 言うて。 1) 家を建てた時 そとまあし (外廻り・外壁) 重ねて かこい (囲い)、 ヨロイガ コイヤ (だ) 言うて、上から ちょいと (少し) 重ねて すんのを (するのを) ヨロイ にして言うて、 とばこ やどけ (戸袋などに) してあんのな有るやんない (して有るのが有るでしょう)。 あいの (あんなのを) ヨロイヤ (だ) 言う なあ (言います)。

よろく(余禄)【名詞】予定外の収入 余分の収入 余得(志(布施田)、上、阿、度)【会話】 思いがけない収入 な (が) 有る言う事を、 ヨロク な (が) 有って言うて。 ヨロク な (の) 儲け な (が) 有ったとか言うて 言うなあ (言います)。

よろけ【名詞】中風 【会話】 ヨロケ 言うのは、 よろ と ヨロケ テク (て行く) 言うやんかい (言います)。 ちゅうぶ (中風) になって ヨロケトル (ている) 言うてな。

よろけさがす 体が安定を失って転びそうになる ふらつく(志(布施田))

よろける【自カ下一】体が安定を失なって転びそうになる ふらつく 倒れかかる(志(浜島))

よろこばし(喜、悦)【形容詞】うれしい 喜びたくなるような状況である 【会話】 ヨロコバシ 事やなあ (だ) 言うのは、 ええ (よい) 事やなあ (だ) 言う の (のです)。 目出たい事 な (が) 有って したりすると (すると) ヨロコバシ 事やなあ (だ) 言うて。

よろこび(喜)【名詞】1) 出産 出産という慶事(志(立神、志島、国府、鶴方)、鳥(国崎)、松、上、阿、張、名、度)2) 祝う事(志(布施田)、桑市、上、阿、張、名、南)【会話】 1) 子供 な (が) 生れると ヨロコビユワイ や (だ) 言うて、生れた ひい (日) に ヨロコビユワイ しいおったなあ (して居ました)。親の祝い や (だ) 言うて、安産した言う祝いで ヨロコビユワイ は 親の祝い や よってん (だから) 言うて。 ヨロコビユワイ よばれてく (招待されて行く) 言うて、親 兄弟を 他の もん (者) は よけよばせんけど (沢山招待しないが) ほん (本当に) したしもん (親しい者) だけ ヨロコビユワイ よばれるなあ (招待されます)。 七夜 (命名祝い) 言う と、 こお (子供) の祝い なし (ですし)、 ヨロコビユワイ は 親 な (が) 無事で安産した言う祝い や (です)。

よろこびいわい【**名詞**】1) 出産した夜 出産のための
小宴 おびや祝い よろこび参照(志) 2) 好都合で
祝う事

よろこびごと(喜事)【**名詞**】喜るこばしい事柄 祝う
べき事柄 祝宴 [会話] ヨロコビゴト言うとな、子
供な生れたとか、嫁さん貰ろた(貰らった)とか そ
お言う時きを ヨロコビゴト言うのな(です)。がっ
こ(学校)卒業したとか、合格したとか 喜ぶ様な出
来事、嬉しよおな出来事をな。

よろこびゆわい【**名詞**】よろこびいわいに同じ 好事で
祝う事(志)

よろず(よろづ)(万)【**名詞**】すべてのこと すべての
もの 全部 あらゆること [会話] ヨロズのもんな
(物が)、有る言うな(のは) 沢山 いろんなもんな
(いろいろな物が) あんのを(有るのを)、ヨロズの
もんな 有る言うて。いろんなもんな 有るやんない
(有るでしょう)、おおた ヨロズヨシナのもんな
(物が) あんねよお(有るのだ) 言うて 沢山有るの
を。

よろずのもん【**名詞**】すべての物 あらゆる物

よろずよしな【**名詞**】すべての物 あらゆる物 沢山の
物を表す語 よろず参照(志(甲賀))

よろずよしなのこと【**名詞**】あらゆる事 すべてのこと
[会話] ヨロズヨシナノコト言うのは、いろんな
(色々な)事が出来て来た言う事やな(です)。ええ
(よい) 事やら(とか)、わり(悪るい) 事やら ご
しゃごしゃん(に) 出来て来て言う事やなあ(です)。

よろずよしなのもん【**名詞**】すべての物 あらゆる物

よろつく【**自力変**】よろめく

よろや 寄り集まりましょう [用例] みんな (皆
が) ヨロヤ

よろや 立ち寄りましょう

よろり【**名詞**】みずうお ミズウオ科の海魚 背鰭は著
しく大きく、その起始は主鰓蓋骨の直上あるいはそれ
より後方に有る。口蓋骨と下顎には大きな短剣状の歯
が有る。鱗はない。体長約1.3mに達す。

よわくさい【**形容詞**】弱い(志(浜島)、度、一、久、
伊、南)

よわくそ(弱糞)【**名詞**】弱い者 意気地無い者をの
しって言う語(志(越賀、浜島、御座、鶴方、立神、
志島、国府)、伊) [会話] 弱いのおを(のを) 言う
のなあ(のです)、体な(が) よおおて(弱くて) ヨ
ワクソでな言うて。喧嘩やなんや(など) しても、
あれは(彼は) ヨワクソで じっさん(じきに・すぐ

に) 負けんのなし(負けるのだ) 言うて、負けてばっ
か(ばかり) おって ヨワクソのくせんおって(に居
て) まあ言うて。

よわしげ【**形容詞**】弱々しいさま

よわしけない【**形容詞**】弱い 弱々しい(志(布施田)、
一、度) [会話] 弱々し、しとんのをなあ(している
のを)、ヨワシケナイ言うの(のです)。頼りないよん
しとんのを(ようにしているのを)、ヨワシケナイ人
やなあ(だ) あのひた(人は) 言うて。なんか(なに
か) 頼りないよおな人な(が) あるやんかな(有りま
す) 男でも おなご(女) でも。

よわしない【**形容詞**】弱い(志(甲賀)、一、度)

よわたり(世渡)【**名詞**】世を渡って行くこと 生活し
て行くこと

よわった 1) 困った 2) 弱わくなった 衰弱した
(志(布施田)) [会話] 1) 仕事な おおすぎて(多
過ぎて) ヨワッタナア言う時ん(に)、はどったなあ
(手に負えない) よけ(沢山) 仕事な(が) 有って。

よわっとられ 1) 体などが衰弱している 2) 困って
居る [会話] 1) 体な(が) ヨワットラレ えごと
(十分に) 養生せえよお(しなさい) 言うて。

よわみ【**名詞**】弱点 他人に対し自分が持っている弱
い所 ひけめ

よわらかされた 困らされた 苦勞させられた 迷惑だ
った [会話] 人な(が) 忙がしのん(しいのに)、
あれもしてくれ(下さい)、此れもしてくれ 言うて
頼むやろ(でしょう)、そすと(すると) その人、よ
わるやんかな(困ります)。忙しのん(のに) そお言
う時ん(に) おらまあ(俺は) ヨワラカサレたよお言
うの(のです)。

よわらかした 困らせた 迷惑をかけた 面倒をかけた

よわらかす。よわらす【**他サ五**】1) 困まらす(志)
2) 衰弱させる [会話] 1) よわらかすも 一緒や
(です)。ヨワランなあ まあ言うて、いろんな
(色々な)事言うて 困らすとか。2) 体がヨワラス
衰弱する言うの(のです) よけ(沢山) 仕事されて
追い使われて 体もなんも、くたくたやなあ(だ) 言
う時も、まあ よわらされたよお言うし、体な(が)
加減なわり(調子が悪るく) なって来たのも 体な
(が) こげん(こんなに) なって来て よわったよお
言うて。

よわり(弱)【**名詞**】困る事 衰える事 衰弱

よわりめ(弱目)【**名詞**】弱い所 弱い時 弱点 [会
話] ヨワリメ たたり目言うて つけ込んで 災難

事 よけ (沢山) 有ると。

よわる【自ラ五】 1) 弱る 弱くなる 2) 困る 3) 傷む・古くなる (南) 4) 病気になる 5) 老衰する
[会話] 2) ぜん (銭) 呉れ言うて、せびられて (強要されて) ヨワル。

…**よん** ように (志 (布施田)、度) [会話] あげな (あんな) ヨンばつか (ばかり) して言うて。

よんじりごし【名詞】 腰を捻ねっている状態 [会話]
ヨンジリゴシ言うな (のは)、よこちょんひねっとる (横の方に捻ねっている) ことなあ (です)。横ん (に) して 歩いとる (ている) 時な (が) あるやん かい (有ります)。あや (あれ) ヨンジリゴシしとん ない (している) 言うて。

よんでくれる 1) 招待してくれる 2) 嫁として婚家に迎へ入れてくれる [会話] 1) 御地走して、ヨンデクレルかい (ですか)、御馳走 よばれてこいえ (来なさい) 言うのを よんでもおて (もらって) よばれてくんやわい (て行くのです) 言うて。2) 嫁さんとして その家い (へ) はいんのも (入いるのも) ヨンデクレル、今日は 嫁よばな (迎へなければ) 言うて、二年も 三年も まあ おいてもろたんよって (のだから) 嫁 よばな 言うて。

よんでくれんね 招待して来れるのだ

よんでくれんねて。よんでくれんねてわい 招待してくれるそうだ よばれる参照

よんでもおて 招待してもらって

よんでもらう 1) 御馳走になる、招待される 2) 婚家に嫁として入る

よんとだる【名詞】 四斗樽 (南) [会話] ヨントダル言うな (のは) 四斗樽の事なあ (です)。

よんどろもんどろ ふらふらしている状態 [会話] 足な普通の人みたよん 真っ直ぐ歩るかんなあ ひよろひよろ したよんしとんの (ようにしているのを) ヨンドロモンドロなあ。

よんなか【名詞】 世の中 世間 (阿、張、名) [会話] 世の中言うのを ヨンナカ言うのなあ (です)。こんな ヨンナカななあ (が) 言う人な (が) あんね (有ります) 世の中言わんと (ずに)。

よんべ【名詞】 昨晚 よべ (昨夜) の音便 (大言海) (志 (片田、布施田、神明、安乗、浜島、立神)、鳥 (神島、加茂)、桑郡、桑市、員、三、鈴市、鈴郡、安、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] ヨンベ生れた 豚の子は言うて、ゆうべ (昨夜) の事を ヨンベ言うの (のです)。

よんべや 昨夜は [会話] よんべ、ヨンベヤ ゆうべは言うのを ヨンベヤ言うの (のです)。

よんほんびし 突く所が四本に別れている鰯 (三重県全域) [会話] ひしの事やろ (です) 魚突く 先な (が) 四つになって ヨンホンビシ。